

**坂出市中小企業・小規模企業実態調査
（アンケート調査）
中間報告書**

令和4年10月

坂出市建設経済部産業観光課

目次

■坂出市中小企業・小規模企業実態調査（アンケート調査）

I アンケート調査の目的等	1
II 企業・事業所の現状について	2
III 新型コロナウイルスと物価高の影響について	7
IV 企業・事業所の経営の現状について	19
V 経営課題の相談相手について	35
VI 坂出市の特徴について	37
VII 公的支援策の活用について	40

■健康経営・ヘルスケア産業に関する意識調査（アンケート調査）

I 健康経営について	50
II ヘルスケア産業について	56

参考資料

アンケート自由回答	60
-----------	----

I アンケート調査の目的等

1. 調査の目的・手法等

坂出市では、坂出市中小企業・小規模企業振興計画の策定に当たり、市内中小企業者・小規模企業者の皆様の現状やニーズを把握するために、「坂出市中小企業・小規模企業実態調査（アンケート調査）」を実施いたしました。

2. 調査の対象

市内に事業所を有する中小企業 986 事業所を抽出。

3. 調査の方法

郵送および香川県電子申請システムによる配布、回収、回答。

4. 調査の期間

令和 4 年 8 月 16 日（火）～令和 4 年 9 月 16 日（金）

5. 回収結果

発送数 986 通

回収数 308 通（回収率 31.23%） ※令和 4 年 9 月 30 日回収分まで
（うち、用紙回答 261 通、香川県電子申請システム回答 47 通）

6. 報告書の見方

（1）回答は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示しています。

（2）小数点第 2 位を四捨五入しているため、比率の合計が 100.0 にならない場合があります。

（3）複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が 100.0%を超えます。

回答があっても、小数点第 2 位を四捨五入して 0.1%に満たない場合は、図表には「0.0」と表記しています。

（4）図表において、選択肢を簡略化して表記している場合があります。

（5）無回答を含むデータを（全体）、無回答を除いたデータを（除不）とし、文章や図においては（除不）のデータを使用しています。

Ⅱ 企業・事業所の現状について

設問 1 主な業種（売上高の最も高いもの）を教えてください。該当する番号 1 個を回答欄にご記入ください。

「建設業」が最も高く 18.4%（除不：以下同じ）、次いで「小売業」が 17.4%となっています。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	建設業	56	18.2	18.4
2	製造業	45	14.6	14.8
3	情報通信業	3	1.0	1.0
4	運輸業・郵便業	16	5.2	5.2
5	卸売業	23	7.5	7.5
6	小売業	53	17.2	17.4
7	不動産業・物品賃貸業	10	3.2	3.3
8	学術研究・専門サービス業	3	1.0	1.0
9	宿泊業	2	0.6	0.7
10	飲食サービス業	17	5.5	5.6
11	医療・福祉	21	6.8	6.9
12	サービス業	41	13.3	13.4
13	その他	15	4.9	4.9
	不明	3	1.0	
	N（%ベース）	308	100	305

設問 2 資本金の額について、該当する番号 1 個を回答欄にご記入ください。

「500万円以下」が最も高く 28.4%（除不：以下同じ）、次いで「個人事業主」が 22.5%となっています。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	個人事業主	69	22.4	22.5
2	500万円以下	87	28.2	28.4
3	500万円超1千万円以下	55	17.9	18.0
4	1千万円超3千万円以下	59	19.2	19.3
5	3千万円超5千万円以下	20	6.5	6.5
6	5千万円超1億円以下	8	2.6	2.6
7	1億円超3億円以下	4	1.3	1.3
8	3億円超	4	1.3	1.3
	不明	2	0.6	
	N（%ベース）	308	100	306

設問3 会社（全体）の売上高を教えてください。該当する番号1つを回答欄にご記入ください。

「1,000万円以下」が最も高く 19.5%（除不：以下同じ）、次いで「5,000万円超1億円以下」、「5億円超」が 15.6%となっています。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	1,000万円以下	60	19.5	19.5
2	1,000万円超2,000万円以下	29	9.4	9.4
3	2,000万円超3,000万円以下	19	6.2	6.2
4	3,000万円超5,000万円以下	22	7.1	7.2
5	5,000万円超1億円以下	48	15.6	15.6
6	1億円超2億円以下	35	11.4	11.4
7	2億円超3億円以下	18	5.8	5.9
8	3億円超5億円以下	28	9.1	9.1
9	5億円超	48	15.6	15.6
	不明	1	0.3	
	N（%ベース）	308	100	307

設問4 会社・事業所全体の従業員数（役員・事業主を除く。パート・アルバイト・専従者を含む）を教えてください。該当する番号1つを回答欄にご記入ください。

「1～5人」が最も高く 36.5%（除不：以下同じ）、次いで「6～20人」が 26.4%となっています。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	0人	40	13.0	13.0
2	1～5人	112	36.4	36.5
3	6～20人	81	26.3	26.4
4	21～50人	46	14.9	15.0
5	51～100人	10	3.2	3.3
6	101～300人	12	3.9	3.9
7	301人以上	6	1.9	2.0
	不明	1	0.3	
	N（%ベース）	308	100	307

<クロス集計>

■業種別（抜粋）の従業員数

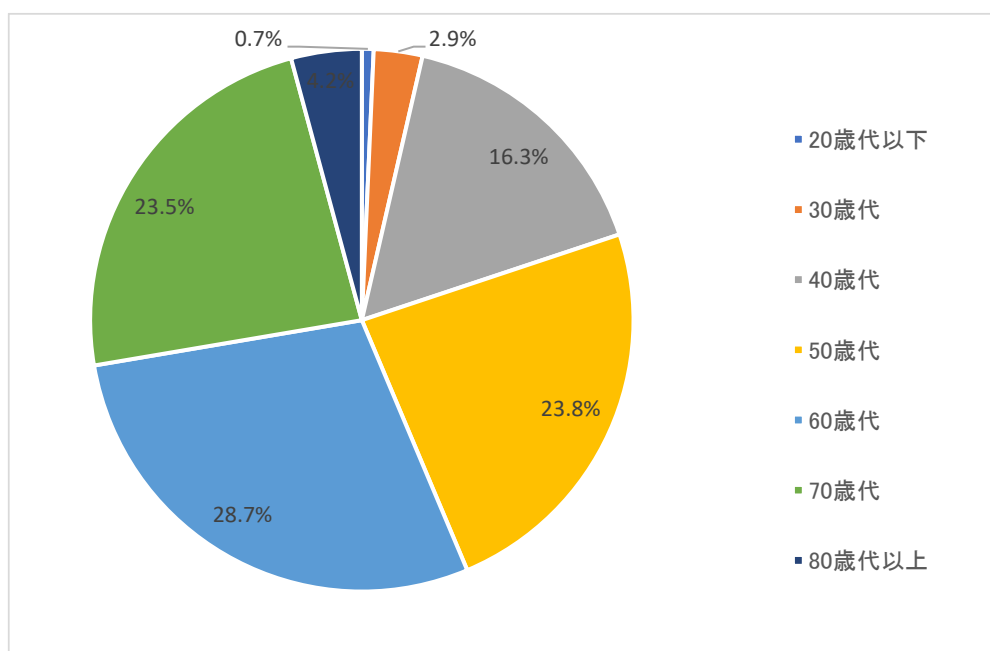
建設業、製造業、サービス業では「6～20 人」の従業員数の割合が高く、運輸業・郵便業では「1～5 人」と「21～50 人」の割合が高くなっています。他の業種では「1～5 人」が高くなっています。総じて、小規模企業性の高い調査結果となっています。

上段:度数 下段:%		問4.従業員数							
		合計	0人	1～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101～300人	301人以上
問1.業種	全体	305 100.0	40 13.1	111 36.4	80 26.2	46 15.1	10 3.3	12 3.9	6 2.0
	建設業	56 100.0	4 7.1	19 33.9	21 37.5	8 14.3	— —	2 3.6	2 3.6
	製造業	45 100.0	3 6.7	14 31.1	14 31.1	8 17.8	2 4.4	3 6.7	1 2.2
	運輸業・郵便業	16 100.0	— —	5 31.3	4 25.0	5 31.3	1 6.3	1 6.3	— —
	卸売業	23 100.0	1 4.3	9 39.1	7 30.4	5 21.7	— —	1 4.3	— —
	小売業	53 100.0	17 32.1	20 37.7	6 11.3	7 13.2	— —	3 5.7	— —
	飲食サービス業	17 100.0	— —	11 64.7	4 23.5	1 5.9	— —	— —	1 5.9
	医療・福祉	21 100.0	2 9.5	6 28.6	4 19.0	4 19.0	3 14.3	— —	2 9.5
	サービス業	41 100.0	8 19.5	13 31.7	14 34.1	3 7.3	1 2.4	2 4.9	— —

設問5 経営者の方・事業主の方の年代を教えてください。該当する番号 1つ を回答欄にご記入ください。

「60 歳代」が最も高く 28.7%（除不：以下同じ）、次いで「50 歳代」が 23.8%となっています。

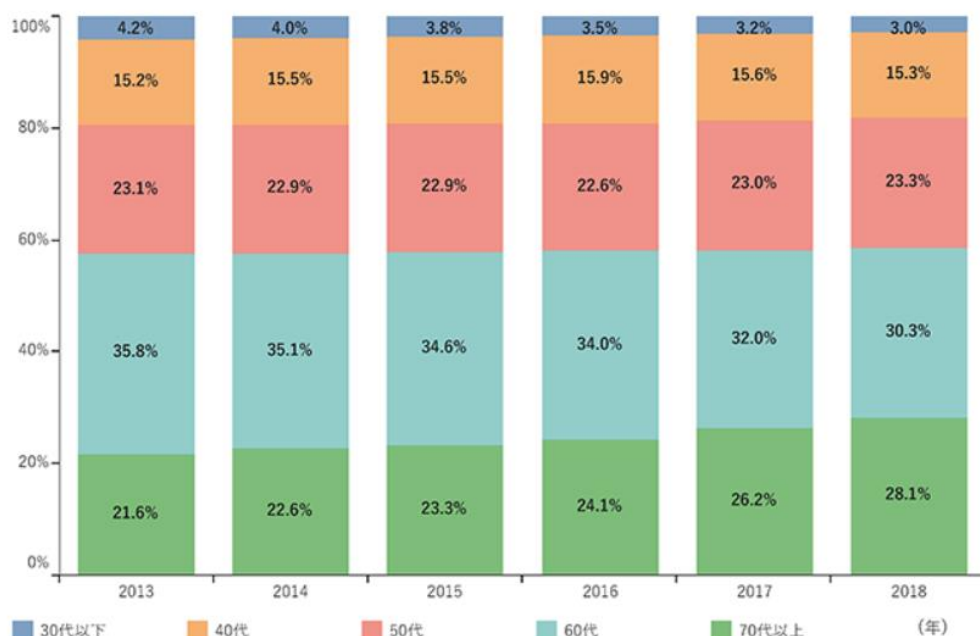
No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	20歳代以下	2	0.6	0.7
2	30歳代	9	2.9	2.9
3	40歳代	50	16.2	16.3
4	50歳代	73	23.7	23.8
5	60歳代	88	28.6	28.7
6	70歳代	72	23.4	23.5
7	80歳代以上	13	4.2	4.2
	不明	1	0.3	
	N（%ベース）	308	100	307



【中小企業白書（2020 年・2021 年）に見る経営者の年代】

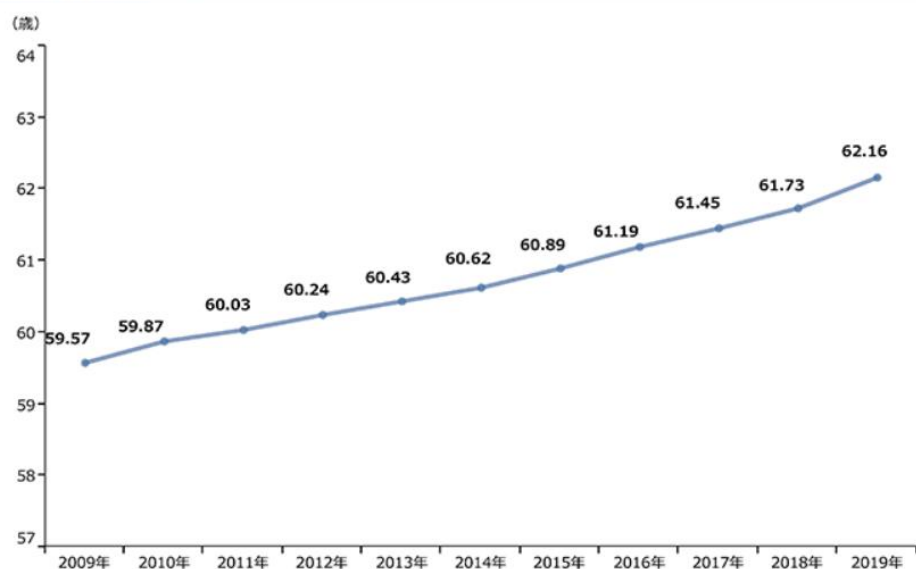
全国的には経営者の年代は 60 歳代が多く、その割合は年々高くなっています。経営者の平均年代は年々高まっており、62.16 歳となっています。

第1-3-23図 社長の年齢分布



資料：(株)東京商工リサーチ「全国社長の年齢調査」

第2-3-8図 経営者の平均年齢の推移



資料：(株)東京商工リサーチ「全国社長の年齢調査（2019年12月31日時点）」

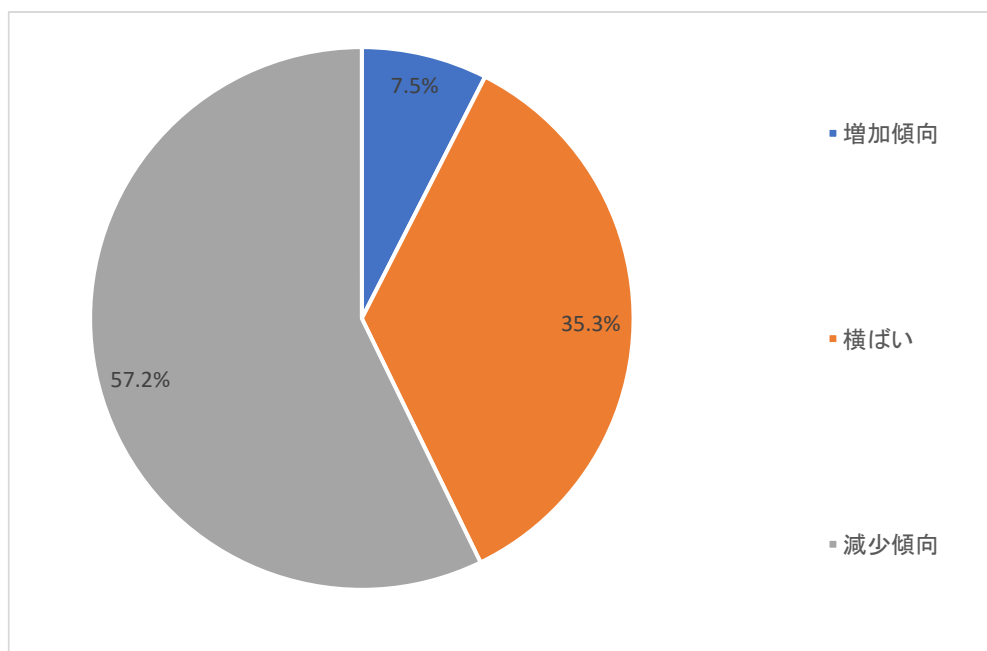
Ⅲ 新型コロナウイルスと物価高の影響について

設問6 「新型コロナウイルスの影響・物価高の影響」による令和4年4月～6月の売上高、営業利益、コロナ収束後の見通しを教えてください（コロナ禍前と比較して）。該当する番号をそれぞれ回答欄にご記入ください。

1. 売上高

「減少傾向」が最も高く 57.2%（除不：以下同じ）となっています。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	増加傾向	23	7.5	7.5
2	横ばい	108	35.1	35.3
3	減少傾向	175	56.8	57.2
	不明	2	0.6	
	N（％ベース）	308	100	306



<クロス集計>

■業種（抜粋）

業種別では、総じて減少傾向にあります。「卸売業」、「医療・福祉（同率）」で「横ばい」が高くなっています。

上段:度数 下段:%		問6-1 売上高			
		合計	増加傾向	横ばい	減少傾向
問1.業種	全体	304 100.0	23 7.6	108 35.5	173 56.9
	建設業	56 100.0	3 5.4	23 41.1	30 53.6
	製造業	45 100.0	4 8.9	19 42.2	22 48.9
	運輸業・郵便業	16 100.0	2 12.5	5 31.3	9 56.3
	卸売業	23 100.0	6 26.1	9 39.1	8 34.8
	小売業	53 100.0	3 5.7	10 18.9	40 75.5
	飲食サービス業	17 100.0	1 5.9	3 17.6	13 76.5
	医療・福祉	21 100.0	1 4.8	10 47.6	10 47.6
	サービス業	41 100.0	1 2.4	15 36.6	25 61.0

■従業員数

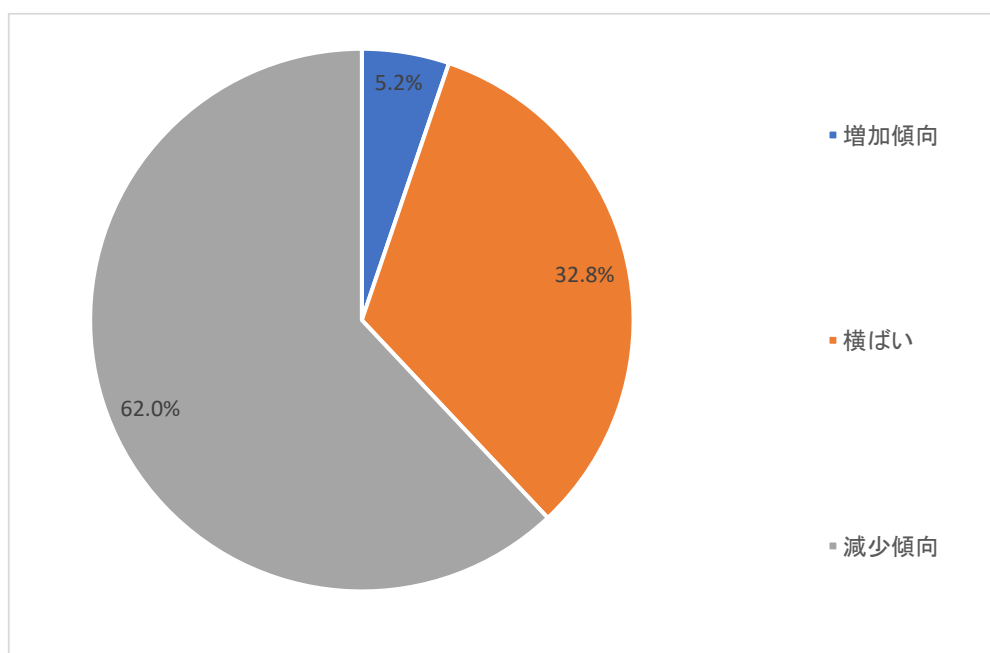
従業員数別では、小規模になるほど減少傾向にあります。「51～100 人」で「横ばい」が高くなっています。

上段:度数 下段:%		問6-1 売上高			
		合計	増加傾向	横ばい	減少傾向
問4.従業員数	全体	306 100.0	23 7.5	108 35.3	175 57.2
	0人	39 100.0	－ －	13 33.3	26 66.7
	1～5人	112 100.0	8 7.1	37 33.0	67 59.8
	6～20人	81 100.0	7 8.6	28 34.6	46 56.8
	21～50人	46 100.0	5 10.9	19 41.3	22 47.8
	51～100人	10 100.0	2 20.0	6 60.0	2 20.0
	101～300人	12 100.0	－ －	5 41.7	7 58.3
	301人以上	6 100.0	1 16.7	－ －	5 83.3

2. 営業利益 ※個人事業主の方は差引金額

「減少傾向」が最も高く 62.0%（除不：以下同じ）となっています。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	増加傾向	16	5.2	5.2
2	横ばい	100	32.5	32.8
3	減少傾向	189	61.4	62.0
	不明	3	1.0	
	N (％へ-ズ)	308	100	305



<クロス集計>

■業種（抜粋）

業種別では、総じて減少傾向にあります。「建設業（同率）」、「卸売業」で「横ばい」が高くなっています。

上段:度数 下段:%		問6-2 営業利益			
		合計	増加傾向	横ばい	減少傾向
問1.業種	全体	303 100.0	16 5.3	100 33.0	187 61.7
	建設業	56 100.0	2 3.6	27 48.2	27 48.2
	製造業	45 100.0	5 11.1	13 28.9	27 60.0
	運輸業・郵便業	16 100.0	1 6.3	4 25.0	11 68.8
	卸売業	23 100.0	3 13.0	11 47.8	9 39.1
	小売業	52 100.0	1 1.9	7 13.5	44 84.6
	飲食サービス業	17 100.0	— —	1 5.9	16 94.1
	医療・福祉	21 100.0	2 9.5	8 38.1	11 52.4
	サービス業	41 100.0	— —	15 36.6	26 63.4

■従業員数

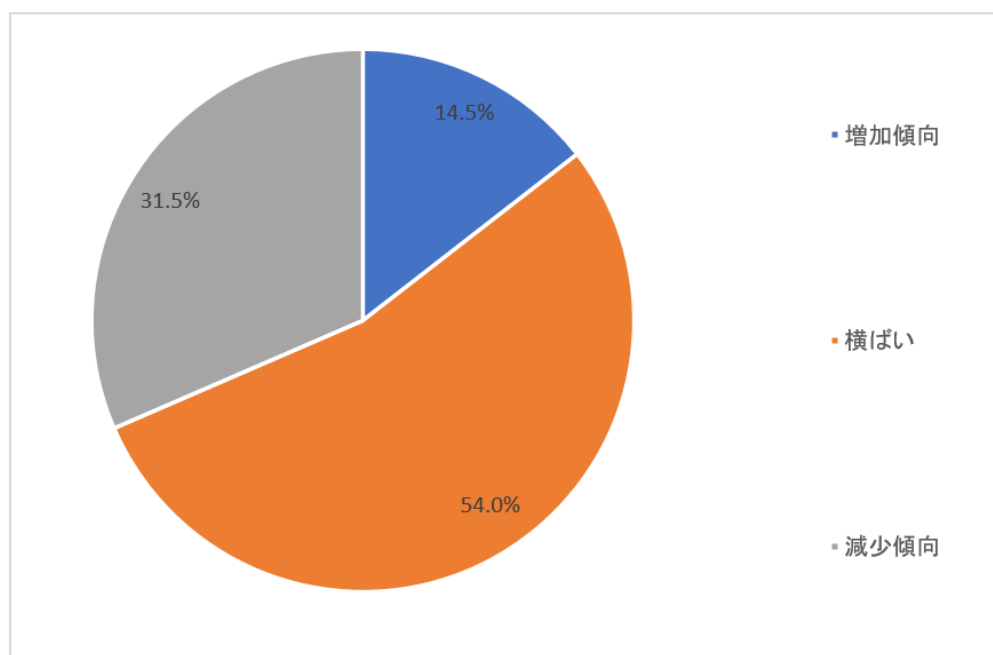
従業員数別では、小規模になるほど減少傾向にあります。「101～300 人」で「横ばい」が高く（同率）なっています。

上段:度数 下段:%		問6-2 営業利益			
		合計	増加傾向	横ばい	減少傾向
問4.従業員数	全体	305 100.0	16 5.2	100 32.8	189 62.0
	0人	38 100.0	— —	11 28.9	27 71.1
	1～5人	112 100.0	3 2.7	38 33.9	71 63.4
	6～20人	81 100.0	5 6.2	29 35.8	47 58.0
	21～50人	46 100.0	4 8.7	14 30.4	28 60.9
	51～100人	10 100.0	3 30.0	2 20.0	5 50.0
	101～300人	12 100.0	— —	6 50.0	6 50.0
	301人以上	6 100.0	1 16.7	— —	5 83.3

3. コロナ収束後の見通し

「横ばい」が最も高く 54.0%（除不：以下同じ）となっています。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	増加傾向	44	14.3	14.5
2	横ばい	163	52.9	54.0
3	減少傾向	95	30.8	31.5
	不明	6	1.9	
	N（％ベース）	308	100	302



<クロス集計>

■業種（抜粋）

業種別では、総じて「横ばい」にあります。「運輸業・郵便業」、「小売業」、「飲食サービス業」で減少傾向が高くなっています。

上段:度数 下段:%		問6-3 コロナ収束後の見通し			
		合計	増加傾向	横ばい	減少傾向
問1.業種	全体	300 100.0	44 14.7	162 54.0	94 31.3
	建設業	56 100.0	3 5.4	39 69.6	14 25.0
	製造業	45 100.0	11 24.4	25 55.6	9 20.0
	運輸業・郵便業	15 100.0	1 6.7	7 46.7	7 46.7
	卸売業	22 100.0	6 27.3	11 50.0	5 22.7
	小売業	52 100.0	6 11.5	18 34.6	28 53.8
	飲食サービス業	17 100.0	2 11.8	6 35.3	9 52.9
	医療・福祉	21 100.0	6 28.6	12 57.1	3 14.3
	サービス業	40 100.0	6 15.0	24 60.0	10 25.0

■従業員数

従業員数別では、小規模になるほど厳しい傾向にあります。「301人以上」で「増加傾向」が高くなっています。

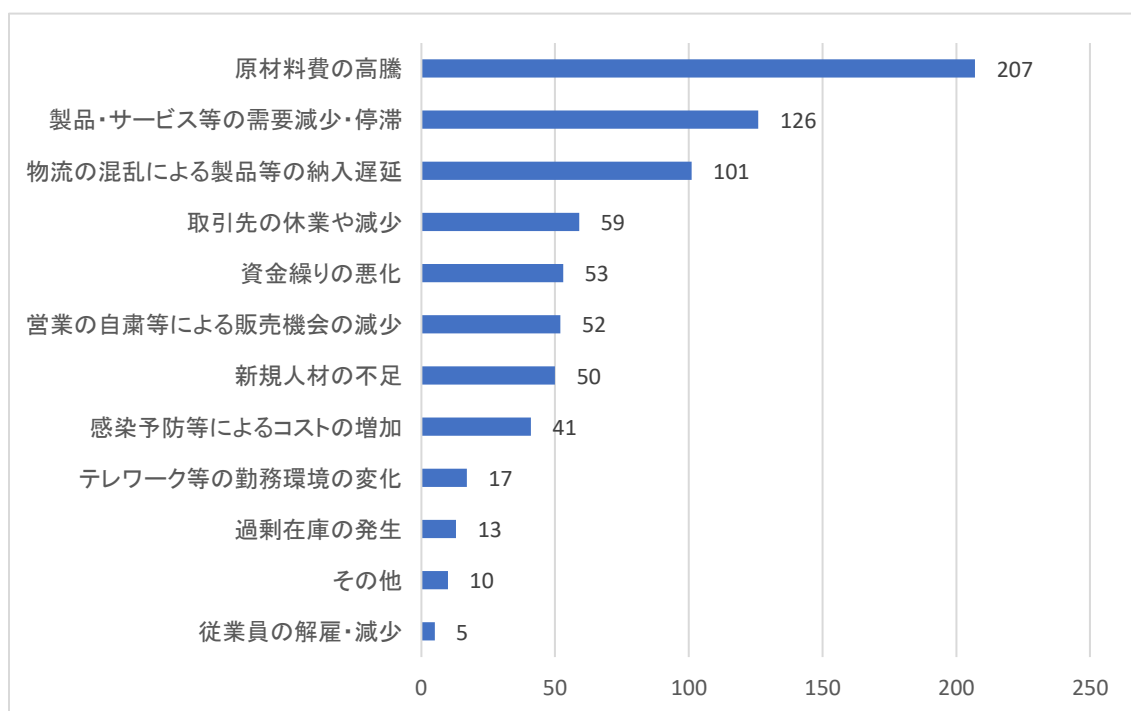
上段:度数 下段:%		問6-3 コロナ収束後の見通し			
		合計	増加傾向	横ばい	減少傾向
問4.従業員数	全体	302 100.0	44 14.6	163 54.0	95 31.5
	0人	38 100.0	4 10.5	13 34.2	21 55.3
	1～5人	112 100.0	16 14.3	59 52.7	37 33.0
	6～20人	78 100.0	12 15.4	46 59.0	20 25.6
	21～50人	46 100.0	6 13.0	28 60.9	12 26.1
	51～100人	10 100.0	3 30.0	7 70.0	—
	101～300人	12 100.0	—	8 66.7	4 33.3
	301人以上	6 100.0	3 50.0	2 33.3	1 16.7

設問7 「新型コロナウイルスの影響・物価高の影響」について教えてください。

受けている影響のイメージに近い番号3つまでを回答欄にご記入ください。

「原材料費の高騰」が最も高く 69.0%（除不：以下同じ）、次いで「製品・サービス等の需要減少・停滞」が 42.0%となっています。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	製品・サービス等の需要減少・停滞	126	40.9	42.0
2	原材料費の高騰	207	67.2	69.0
3	物流の混乱による製品等の納入遅延	101	32.8	33.7
4	感染予防等によるコストの増加	41	13.3	13.7
5	過剰在庫の発生	13	4.2	4.3
6	テレワーク等の勤務環境の変化	17	5.5	5.7
7	資金繰りの悪化	53	17.2	17.7
8	従業員の解雇・減少	5	1.6	1.7
9	新規人材の不足	50	16.2	16.7
10	取引先の休業や減少	59	19.2	19.7
11	営業の自粛等による販売機会の減少	52	16.9	17.3
12	その他	10	3.2	3.3
	不明	8	2.6	
	N（%ベース）	308	100	300



<クロス集計>

■業種（抜粋）・設問上位5項目

- ・製品・サービス等の需要減少・停滞

「卸売業」、「小売業」が高くなっています。

- ・原材料費の高騰

「建設業」、「製造業」、「運輸業・郵便業」、「飲食サービス業」が高くなっています。

- ・物流の混乱による製品等の納期遅延

「建設業」が高くなっています。

- ・資金繰りの悪化

「飲食サービス業」が高くなっています。

- ・取引先の休業や減少

「卸売業」が高くなっています。

上段:度数		問7.新型コロナ、物価高の影響					
下段:%		合計	製品・サービス等の需要減少・停滞	原材料費の高騰	物流の混乱による製品等の納入遅延	資金繰りの悪化	取引先の休業や減少
問1.業種	全体	298 100.0	125 41.9	206 69.1	100 33.6	51 17.1	59 19.8
	建設業	56 100.0	13 23.2	49 87.5	34 60.7	6 10.7	11 19.6
	製造業	45 100.0	18 40.0	44 97.8	18 40.0	4 8.9	9 20.0
	運輸業・郵便業	15 100.0	5 33.3	13 86.7	6 40.0	3 20.0	3 20.0
	卸売業	23 100.0	13 56.5	14 60.9	9 39.1	1 4.3	9 39.1
	小売業	51 100.0	29 56.9	30 58.8	14 27.5	11 21.6	11 21.6
	飲食サービス業	17 100.0	7 41.2	15 88.2	- -	7 41.2	4 23.5
	医療・福祉	21 100.0	9 42.9	10 47.6	5 23.8	6 28.6	1 4.8
	サービス業	40 100.0	21 52.5	18 45.0	11 27.5	6 15.0	6 15.0

<クロス集計>

■従業員数・設問上位5項目

- ・製品・サービス等の需要減少・停滞

従業員数規模を問わず大きく影響を受けています。

- ・原材料費の高騰

従業員数規模を問わず大きく影響を受けています。

- ・物流の混乱による製品等の納期遅延

「6～20人」が高くなっています。

- ・資金繰りの悪化

従業員数規模を問わず影響を受けています。

- ・取引先の休業や減少

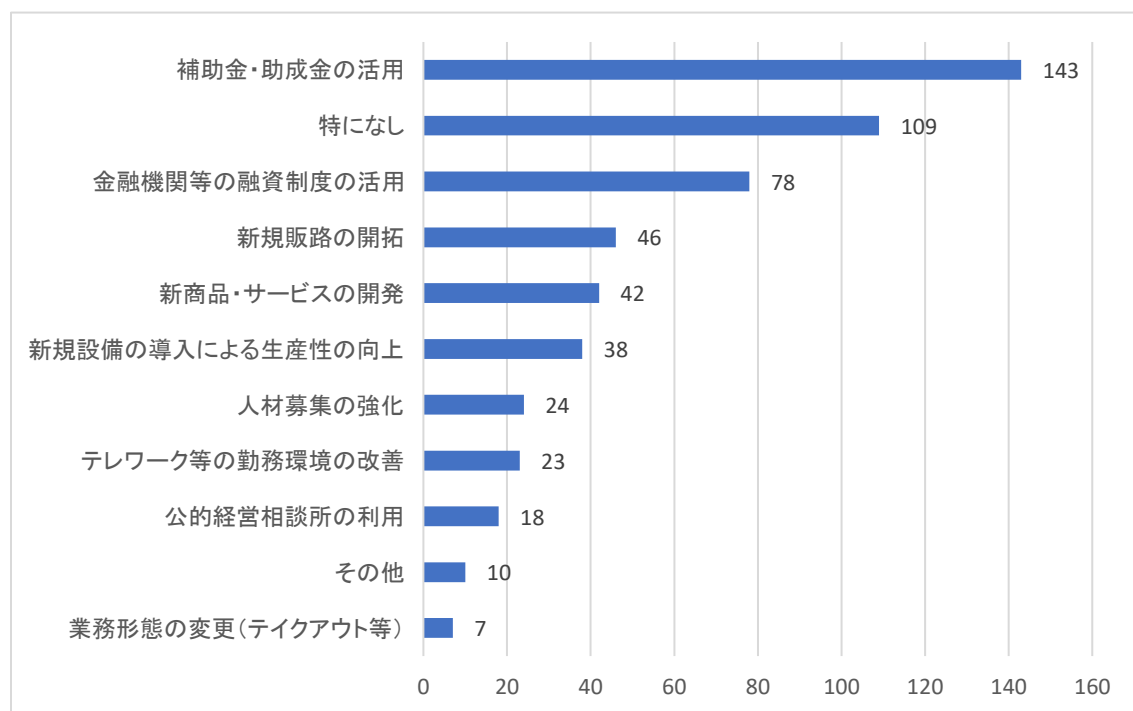
「101～300人」が比較的高くなっています。

上段:度数 下段:%		問7.新型コロナ、物価高の影響					
		合計	製品・サービス等の需要減少・停滞	原材料費の高騰	物流の混乱による製品等の納入遅延	資金繰りの悪化	取引先の休業や減少
問4.従業員数	全体	300 100.0	126 42.0	207 69.0	101 33.7	53 17.7	59 19.7
	0人	37 100.0	18 48.6	25 67.6	6 16.2	7 18.9	10 27.0
	1～5人	110 100.0	48 43.6	69 62.7	37 33.6	23 20.9	23 20.9
	6～20人	80 100.0	28 35.0	59 73.8	37 46.3	18 22.5	14 17.5
	21～50人	45 100.0	19 42.2	35 77.8	13 28.9	2 4.4	8 17.8
	51～100人	10 100.0	4 40.0	4 40.0	2 20.0	3 30.0	— —
	101～300人	12 100.0	6 50.0	9 75.0	4 33.3	— —	4 33.3
	301人以上	6 100.0	3 50.0	6 100.0	2 33.3	— —	— —

設問 8 「新型コロナウイルスの影響・物価高の影響」を受けて、貴社が実施した対策や対応（今後予定も含めて）について、イメージに近い番号3つまでを回答欄にご記入ください。

「補助金・助成金の活用」が最も高く 46.6%（除不：以下同じ）、次いで「特になし」が 35.5%となっています。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	特になし	109	35.4	35.5
2	新商品・サービスの開発	42	13.6	13.7
3	新規販路の開拓	46	14.9	15.0
4	テレワーク等の勤務環境の改善	23	7.5	7.5
5	新規設備の導入による生産性の向上	38	12.3	12.4
6	業務形態の変更（テイクアウト等）	7	2.3	2.3
7	補助金・助成金の活用	143	46.4	46.6
8	金融機関等の融資制度の活用	78	25.3	25.4
9	公的経営相談所の利用	18	5.8	5.9
10	人材募集の強化	24	7.8	7.8
11	その他	10	3.2	3.3
	不明	1	0.3	
	N（%ベース）	308	100	307



<クロス集計>

■業種（抜粋）・設問上位5項目

・特になし

業種による特徴は見られません。

・新商品・サービスの開発

「飲食サービス業」が高くなっています。

・新規販路の開拓

業種による特徴は見られません。

・補助金・助成金の活用

「飲食サービス業」、「医療・福祉」が高くなっています。

・金融機関等の融資制度の活用

「建設業」、「飲食サービス業」が高くなっています。

上段:度数		問8.実施した対応					
下段:%		合計	特になし	新商品・サービスの開発	新規販路の開拓	補助金・助成金の活用	金融機関等の融資制度の活用
問1.業種	全体	304 100.0	107 35.2	42 13.8	46 15.1	141 46.4	77 25.3
	建設業	56 100.0	18 32.1	2 3.6	7 12.5	24 42.9	21 37.5
	製造業	45 100.0	14 31.1	7 15.6	9 20.0	22 48.9	7 15.6
	運輸業・郵便業	16 100.0	5 31.3	1 6.3	3 18.8	8 50.0	5 31.3
	卸売業	23 100.0	10 43.5	4 17.4	5 21.7	7 30.4	5 21.7
	小売業	53 100.0	19 35.8	13 24.5	10 18.9	26 49.1	12 22.6
	飲食サービス業	17 100.0	3 17.6	7 41.2	2 11.8	11 64.7	6 35.3
	医療・福祉	21 100.0	7 33.3	1 4.8	4 19.0	13 61.9	5 23.8

<クロス集計>

■従業員数・設問上位5項目

・特になし

小規模になるほど高くなる傾向にあります。

・新商品・サービスの開発

「101～300人」が高くなっています。

・新規販路の開拓

従業員数規模による特徴は見られません。

・補助金・助成金の活用

「6～20人」、「51～100人」が高くなっています。

・金融機関等の融資制度の活用

従業員数規模による特徴は見られません。

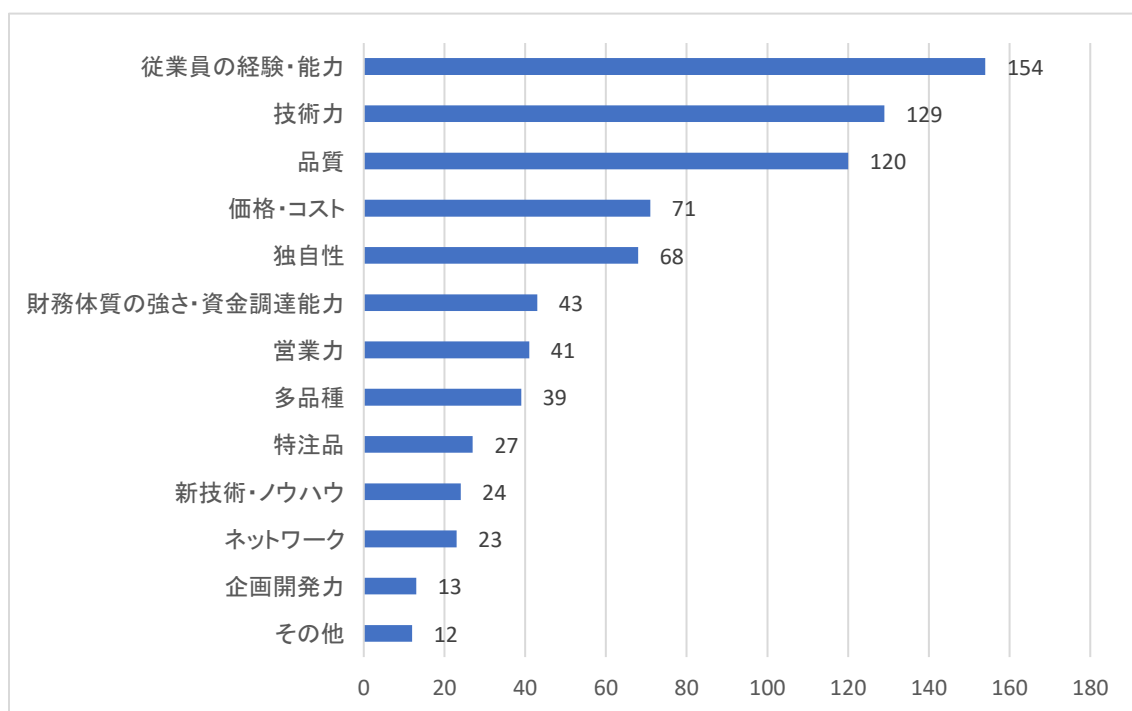
上段:度数		問8.実施した対応					
下段:%		合計	特になし	新商品・サービスの開発	新規販路の開拓	補助金・助成金の活用	金融機関等の融資制度の活用
問4.従業員数	全体	306 100.0	108 35.3	42 13.7	46 15.0	143 46.7	78 25.5
	0人	39 100.0	22 56.4	6 15.4	4 10.3	13 33.3	2 5.1
	1～5人	112 100.0	45 40.2	15 13.4	16 14.3	52 46.4	28 25.0
	6～20人	81 100.0	17 21.0	7 8.6	13 16.0	48 59.3	29 35.8
	21～50人	46 100.0	17 37.0	7 15.2	8 17.4	18 39.1	14 30.4
	51～100人	10 100.0	3 30.0	1 10.0	2 20.0	6 60.0	1 10.0
	101～300人	12 100.0	2 16.7	5 41.7	3 25.0	4 33.3	2 16.7
	301人以上	6 100.0	2 33.3	1 16.7	－ －	2 33.3	2 33.3

IV 企業・事業所の経営の現状について

設問9 貴社の「強み」について教えてください。イメージに近い番号全てを回答欄にご記入ください。

「従業員の経験・能力」が最も高く 51.3%（除不：以下同じ）、次いで「技術力」が 43.0%となっています。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	品質	120	39.0	40.0
2	価格・コスト	71	23.1	23.7
3	多品種	39	12.7	13.0
4	特注品	27	8.8	9.0
5	技術力	129	41.9	43.0
6	企画開発力	13	4.2	4.3
7	営業力	41	13.3	13.7
8	新技術・ノウハウ	24	7.8	8.0
9	ネットワーク	23	7.5	7.7
10	独自性	68	22.1	22.7
11	従業員の経験・能力	154	50.0	51.3
12	財務体質の強さ・資金調達能力	43	14.0	14.3
13	その他	12	3.9	4.0
	不明	8	2.6	
	N（%ベース）	308	100	300



<クロス集計>

■業種（抜粋）・設問上位5項目

・品質

「製造業」、「飲食サービス業」が高くなっています。

・価格・コスト

「飲食サービス業」が高くなっています。

・技術力

「建設業」、「製造業」が高くなっています。

・独自性

「卸売業」が高くなっています。

・従業員の経験・能力

「運輸業・郵便業」、「医療・福祉」が高くなっています。

上段:度数 下段:%		問9.強み					
		合計	品質	価格・コスト	技術力	独自性	従業員の経験・能力
問1.業種	全体	297 100.0	120 40.4	71 23.9	128 43.1	68 22.9	153 51.5
	建設業	56 100.0	20 35.7	8 14.3	40 71.4	8 14.3	34 60.7
	製造業	45 100.0	26 57.8	13 28.9	30 66.7	13 28.9	17 37.8
	運輸業・郵便業	14 100.0	4 28.6	2 14.3	2 14.3	2 14.3	10 71.4
	卸売業	22 100.0	4 18.2	5 22.7	3 13.6	8 36.4	13 59.1
	小売業	50 100.0	20 40.0	15 30.0	12 24.0	11 22.0	16 32.0
	飲食サービス業	17 100.0	13 76.5	9 52.9	2 11.8	5 29.4	7 41.2
	医療・福祉	21 100.0	9 42.9	2 9.5	9 42.9	4 19.0	16 76.2
	サービス業	40 100.0	17 42.5	10 25.0	19 47.5	8 20.0	22 55.0

<クロス集計>

■従業員数・設問上位5項目

・品質

大規模になるほど高くなる傾向にあります。

・価格・コスト

「0人」、「301人以上」が高くなっています。

・技術力

「6～20人」、「301人以上」が高くなっています。

・独自性

従業員数規模による特徴は見られません。

・従業員の経験・能力

「21～50人」、「51～100人」が高くなっています。

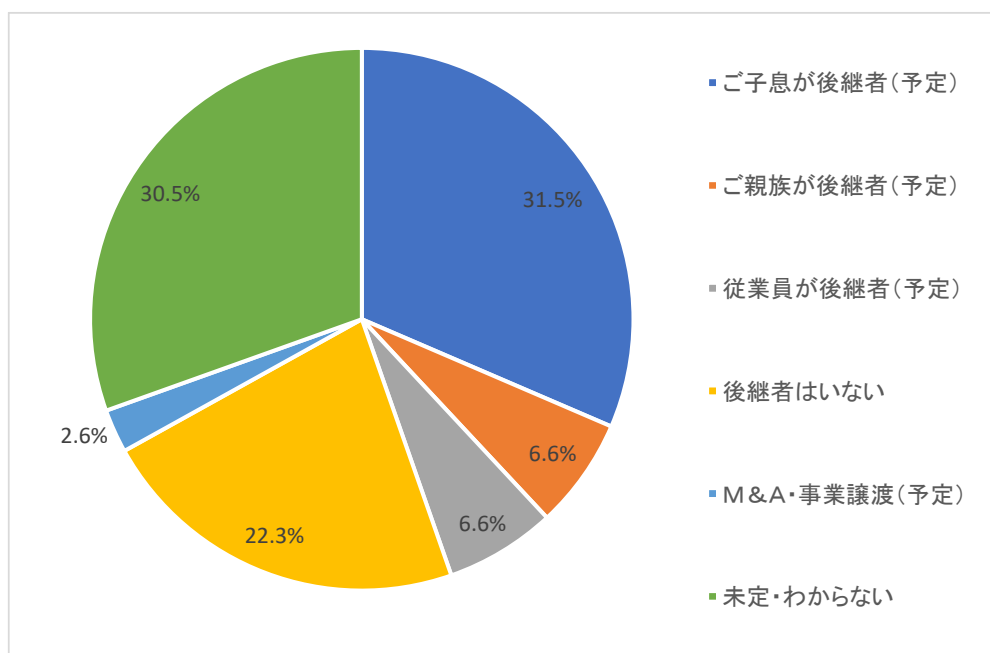
上段:度数 下段:%		問9.強み					
		合計	品質	価格・コスト	技術力	独自性	従業員の経験・能力
問4.従業員数	全体	299 100.0	120 40.1	71 23.7	128 42.8	68 22.7	154 51.5
	0人	36 100.0	16 44.4	11 30.6	14 38.9	8 22.2	4 11.1
	1～5人	110 100.0	38 34.5	28 25.5	43 39.1	28 25.5	53 48.2
	6～20人	80 100.0	36 45.0	17 21.3	41 51.2	16 20.0	49 61.3
	21～50人	45 100.0	16 35.6	12 26.7	19 42.2	11 24.4	33 73.3
	51～100人	10 100.0	4 40.0	— —	3 30.0	2 20.0	7 70.0
	101～300人	12 100.0	6 50.0	1 8.3	5 41.7	3 25.0	5 41.7
	301人以上	6 100.0	4 66.7	2 33.3	3 50.0	— —	3 50.0

設問 10 後継者の有無（予定）について教えてください。該当する番号 1 つを回答欄にご記入ください。

「ご子息が後継者（予定）」が最も高く 31.5%（除不：以下同じ）、次いで「未定・わからない」が 30.5% となっています。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	ご子息が後継者（予定）	96	31.2	31.5
2	ご親族が後継者（予定）	20	6.5	6.6
3	従業員が後継者（予定）	20	6.5	6.6
4	後継者はいない	68	22.1	22.3
5	M & A・事業譲渡（予定）	8	2.6	2.6
6	未定・わからない	93	30.2	30.5
	不明	3	1.0	
	N（%ベース）	308	100	305

後継者はいない＋未定・わからない	161	52.3	52.8
------------------	-----	------	------



<クロス集計>

■業種（抜粋）

業種別では、「ご子息が後継者（予定）」には、大きな違いはありません。「後継者はいない」割合は「小売業」が高く、「未定・わからない」割合は「製造業」、「卸売業」、「飲食サービス業」、「医療・福祉」、「サービス業」で高くなっています。

上段:度数 下段:%		問10.後継者の有無						
		合計	ご子息が後継者(予定)	ご親族が後継者(予定)	従業員が後継者(予定)	後継者はいない	M&A・事業譲渡(予定)	未定・わからない
問1.業種	全体	302 100.0	95 31.5	20 6.6	19 6.3	68 22.5	8 2.6	92 30.5
	建設業	56 100.0	19 33.9	3 5.4	7 12.5	11 19.6	1 1.8	15 26.8
	製造業	44 100.0	16 36.4	3 6.8	3 6.8	8 18.2	—	14 31.8
	運輸業・郵便業	16 100.0	6 37.5	2 12.5	1 6.3	2 12.5	1 6.3	4 25.0
	卸売業	23 100.0	8 34.8	3 13.0	1 4.3	3 13.0	1 4.3	7 30.4
	小売業	52 100.0	9 17.3	—	—	25 48.1	3 5.8	15 28.8
	飲食サービス業	17 100.0	7 41.2	—	—	4 23.5	—	6 35.3
	医療・福祉	21 100.0	8 38.1	3 14.3	—	1 4.8	1 4.8	8 38.1
	サービス業	41 100.0	9 22.0	4 9.8	5 12.2	9 22.0	1 2.4	13 31.7

■従業員数

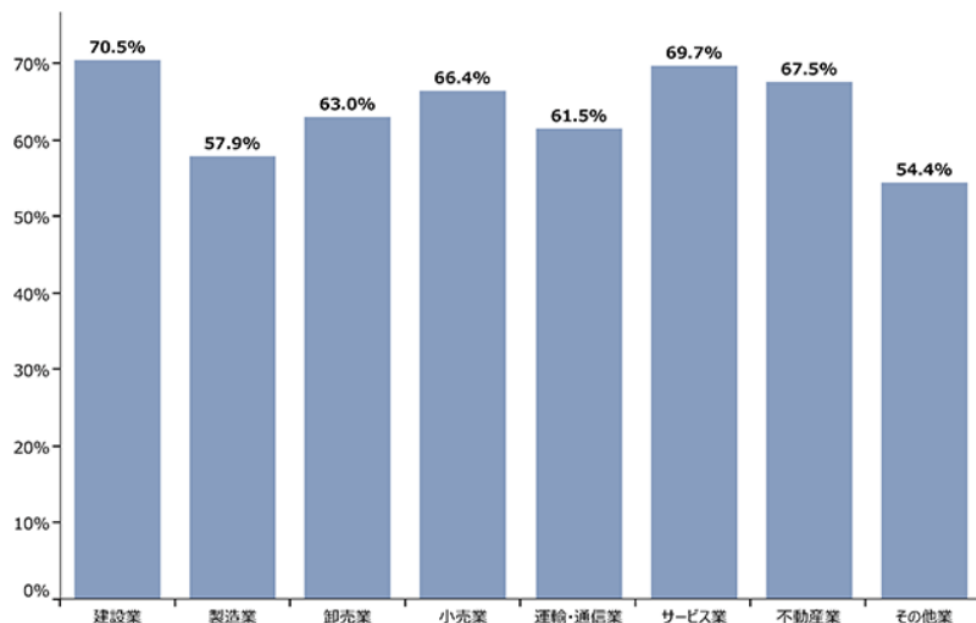
従業員数別では、「ご子息が後継者（予定）」は「6～20人」、「51～100人」、「101～300人」が高くなっています。「後継者はいない」割合は「0人」が高くなっています。「未定・わからない」の割合は「51～100人」が高くなっています。

上段:度数 下段:%		問10.後継者の有無						
		合計	ご子息が後継者(予定)	ご親族が後継者(予定)	従業員が後継者(予定)	後継者はいない	M&A・事業譲渡(予定)	未定・わからない
問4.従業員数	全体	304 100.0	95 31.3	20 6.6	20 6.6	68 22.4	8 2.6	93 30.6
	0人	39 100.0	4 10.3	—	—	24 61.5	1 2.6	10 25.6
	1～5人	112 100.0	31 27.7	6 5.4	5 4.5	31 27.7	2 1.8	37 33.0
	6～20人	81 100.0	34 42.0	8 9.9	6 7.4	10 12.3	—	23 28.4
	21～50人	45 100.0	16 35.6	3 6.7	3 6.7	3 6.7	5 11.1	15 33.3
	51～100人	10 100.0	4 40.0	—	2 20.0	—	—	4 40.0
	101～300人	12 100.0	5 41.7	2 16.7	2 16.7	—	—	3 25.0
	301人以上	5 100.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	—	—	1 20.0

【中小企業白書（2020 年・2021 年）に見る経営者の年代】

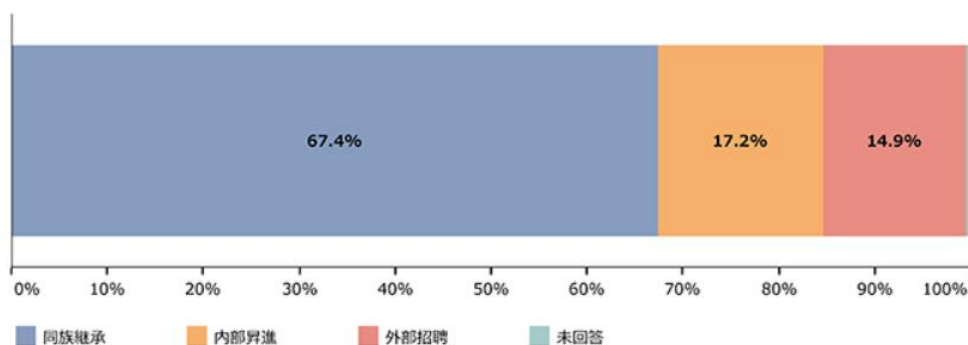
全国的には後継者不在率は概ね 50～70%、同族承継は 67.4%となっています。

第2-3-23図 業種別、後継者不在率



資料：（株）帝国データバンク「全国企業「後継者不在率」動向調査（2020 年）」

第2-3-27図 後継者有企業の承継方法



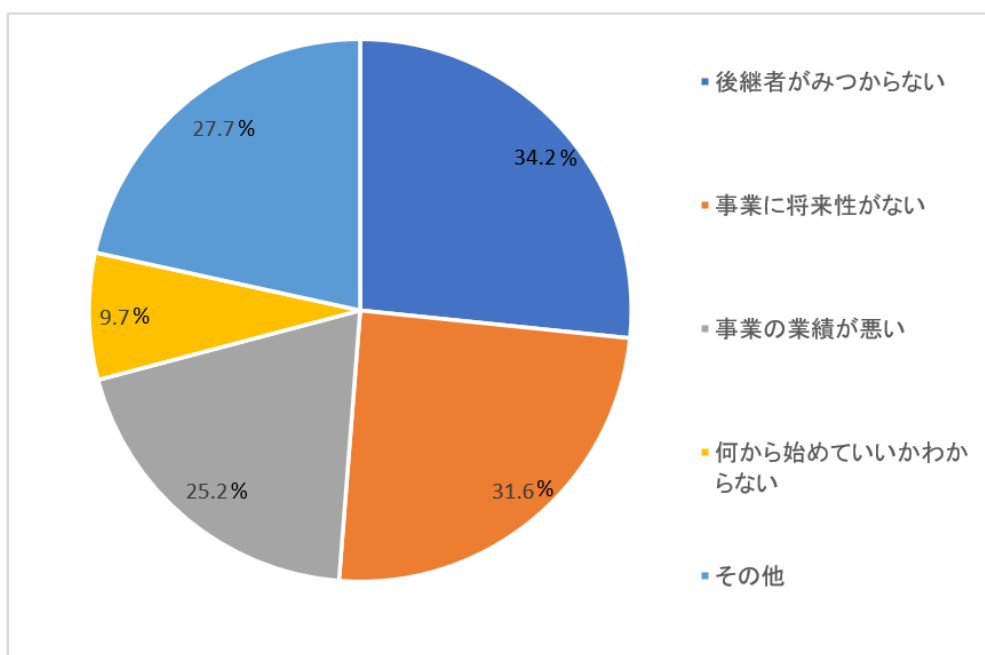
資料：（株）東京商工リサーチ「2020年後継者不在率調査」

（注）（株）東京商工リサーチが保有するデータのうち、後継者「有」としている企業情報を集計している。同族継承は現経営者の親族への承継、内部昇進は社内の役員や従業員への承継、外部招聘は外部の第三者への承継を指す。

設問 1 1 **設問 1 0**で「4. 後継者はいない」または「6. 未定・わからない」と回答した方にお伺いします。後継者が決まっていない理由について教えてください。該当する番号全てを回答欄にご記入ください。

「後継者が見つからない」が最も高く 34.2%（除不：以下同じ）、次いで「事業に将来性がない」が 31.6%となっています。

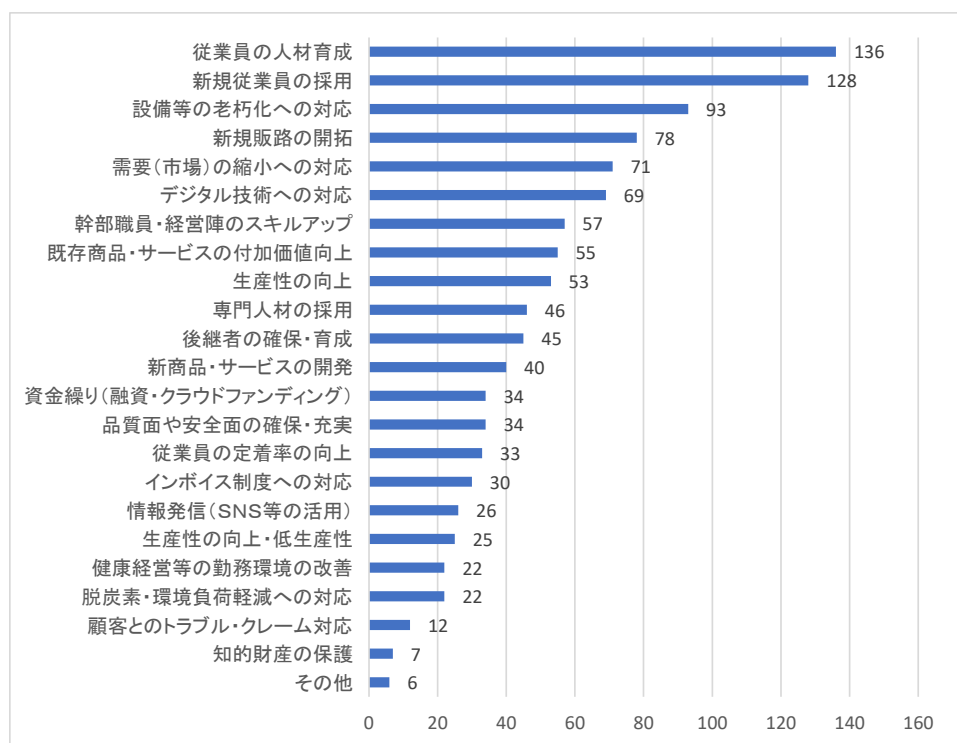
No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	後継者が見つからない	53	17.2	34.2
2	事業に将来性がない	49	15.9	31.6
3	事業の業績が悪い	39	12.7	25.2
4	何から始めていいかわからない	15	4.9	9.7
5	その他	43	14.0	27.7
	不明	153	49.7	
	N (%ベース)	308	100	155



設問 1 2 「新型コロナウイルスの影響・物価高の影響」以外の経営課題（問題点）について教えてください。イメージに近い番号全てを回答欄にご記入ください。

「従業員の人材育成」が最も高く 45.6%（除不：以下同じ）、次いで「新規従業員の採用」が 43.0%となっています。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	従業員の人材育成	136	44.2	45.6
2	幹部職員・経営陣のスキルアップ	57	18.5	19.1
3	新規従業員の採用	128	41.6	43.0
4	専門人材の採用	46	14.9	15.4
5	従業員の定着率の向上	33	10.7	11.1
6	設備等の老朽化への対応	93	30.2	31.2
7	デジタル技術への対応	69	22.4	23.2
8	脱炭素・環境負荷軽減への対応	22	7.1	7.4
9	生産性の向上	53	17.2	17.8
10	品質面や安全面の確保・充実	34	11.0	11.4
11	新規販路の開拓	78	25.3	26.2
12	新商品・サービスの開発	40	13.0	13.4
13	既存商品・サービスの付加価値向上	55	17.9	18.5
14	生産性の向上・低生産性	25	8.1	8.4
15	後継者の確保・育成	45	14.6	15.1
16	顧客とのトラブル・クレーム対応	12	3.9	4.0
17	需要（市場）の縮小への対応	71	23.1	23.8
18	資金繰り（融資・クラウドファンディング）	34	11.0	11.4
19	情報発信（SNS等の活用）	26	8.4	8.7
20	健康経営等の勤務環境の改善	22	7.1	7.4
21	インボイス制度への対応	30	9.7	10.1
22	知的財産の保護	7	2.3	2.3
23	その他	6	1.9	2.0
	不明	10	3.2	
	N（％ベース）	308	100	298



<クロス集計>

■業種（抜粋）・設問上位5項目

・従業員の人材育成

「運輸業・郵便業」、「製造業」が高くなっています。

・新規従業員の採用

「運輸業・郵便業」、「建設業」が高くなっています。

・設備等の老朽化への対応

「製造業」、「医療・福祉」、「飲食サービス業」が高くなっています。

・新規販路の開拓

「卸売業」、「小売業」が高くなっています。

・需要（市場）の縮小への対応

「小売業」が高くなっています。

上段:度数		問12.新型コロナ、物価高以外の経営課題					
下段:%		合計	従業員の 人材育成	新規従業 員の採用	設備等の 老朽化へ の対応	新規販路 の開拓	需要(市 場)の縮小 への対応
問1.業種	全体	295 100.0	136 46.1	128 43.4	92 31.2	77 26.1	69 23.4
	建設業	56 100.0	31 55.4	31 55.4	8 14.3	16 28.6	8 14.3
	製造業	43 100.0	27 62.8	20 46.5	24 55.8	12 27.9	10 23.3
	運輸業・郵便業	16 100.0	11 68.8	10 62.5	5 31.3	3 18.8	2 12.5
	卸売業	22 100.0	12 54.5	10 45.5	4 18.2	8 36.4	8 36.4
	小売業	50 100.0	12 24.0	17 34.0	13 26.0	17 34.0	21 42.0
	飲食サービス業	17 100.0	7 41.2	6 35.3	8 47.1	2 11.8	2 11.8
	医療・福祉	21 100.0	12 57.1	9 42.9	10 47.6	3 14.3	3 14.3
	サービス業	40 100.0	14 35.0	15 37.5	10 25.0	7 17.5	6 15.0

<クロス集計>

■従業員数・設問上位5項目

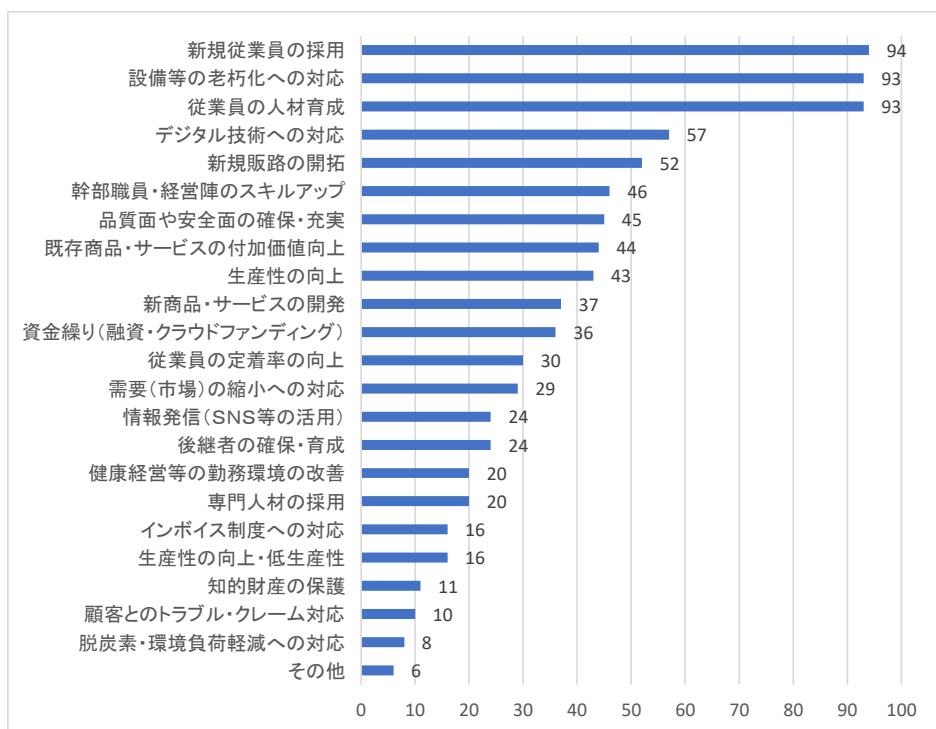
- ・従業員の人材育成
大規模になるほど高くなる傾向にあります。
- ・新規従業員の採用
大規模になるほど高くなる傾向にあります。
- ・設備等の老朽化への対応
「301人以上」が高くなっています。
- ・新規販路の開拓
従業員数規模による特徴は見られません。
- ・需要（市場）の縮小への対応
小規模になるほど高くなる傾向にあります。

上段:度数		問12.新型コロナ、物価高以外の経営課題					
下段:%		合計	従業員の 人材育成	新規従業 員の採用	設備等の 老朽化へ の対応	新規販路 の開拓	需要(市 場)の縮小 への対応
問4.従業員数	全体	297 100.0	136 45.8	128 43.1	93 31.3	78 26.3	70 23.6
	0人	34 100.0	— —	2 5.9	10 29.4	10 29.4	11 32.4
	1～5人	108 100.0	36 33.3	31 28.7	30 27.8	29 26.9	29 26.9
	6～20人	81 100.0	47 58.0	40 49.4	23 28.4	21 25.9	19 23.5
	21～50人	46 100.0	29 63.0	35 76.1	18 39.1	12 26.1	7 15.2
	51～100人	10 100.0	9 90.0	6 60.0	4 40.0	3 30.0	1 10.0
	101～300人	12 100.0	10 83.3	9 75.0	4 33.3	3 25.0	2 16.7
	301人以上	6 100.0	5 83.3	5 83.3	4 66.7	— —	1 16.7

設問 13 過去3年以内に実施した（または現在実施している）課題解決の取り組みについて教えてください。イメージに近い番号全てを回答欄にご記入ください。

「新規従業員の採用」が最も高く 32.6%（除不：以下同じ）、次いで「従業員の人材育成」、「設備等の老朽化への対応」が 32.3%となっています。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	従業員の人材育成	93	30.2	32.3
2	幹部職員・経営陣のスキルアップ	46	14.9	16.0
3	新規従業員の採用	94	30.5	32.6
4	専門人材の採用	20	6.5	6.9
5	従業員の定着率の向上	30	9.7	10.4
6	設備等の老朽化への対応	93	30.2	32.3
7	デジタル技術への対応	57	18.5	19.8
8	脱炭素・環境負荷軽減への対応	8	2.6	2.8
9	生産性の向上	43	14.0	14.9
10	品質面や安全面の確保・充実	45	14.6	15.6
11	新規販路の開拓	52	16.9	18.1
12	新商品・サービスの開発	37	12.0	12.8
13	既存商品・サービスの付加価値向上	44	14.3	15.3
14	生産性の向上・低生産性	16	5.2	5.6
15	後継者の確保・育成	24	7.8	8.3
16	顧客とのトラブル・クレーム対応	10	3.2	3.5
17	需要（市場）の縮小への対応	29	9.4	10.1
18	資金繰り（融資・クラウドファンディング）	36	11.7	12.5
19	情報発信（SNS等の活用）	24	7.8	8.3
20	健康経営等の勤務環境の改善	20	6.5	6.9
21	インボイス制度への対応	16	5.2	5.6
22	知的財産の保護	11	3.6	3.8
23	その他	6	1.9	2.1
	不明	20	6.5	
	N（%ベース）	308	100	288



<クロス集計>

■業種（抜粋）・設問上位5項目

・従業員の人材育成

「医療・福祉」、「運輸業・郵便業」、「建設業」が高くなっています。

・新規従業員の採用

「建設業」が高くなっています。

・設備等の老朽化への対応

「製造業」、「医療・福祉」が高くなっています。

・デジタル技術への対応

「医療・福祉」が高くなっています。

・新規販路の開拓

「卸売業」、「小売業」が高くなっています。

上段:度数		問13. 実施した取り組み					
下段:%		合計	従業員の人材育成	新規従業員の採用	設備等の老朽化への対応	デジタル技術への対応	新規販路の開拓
問1.業種	全体	286 100.0	93 32.5	94 32.9	93 32.5	57 19.9	51 17.8
	建設業	54 100.0	22 40.7	26 48.1	9 16.7	10 18.5	9 16.7
	製造業	43 100.0	13 30.2	14 32.6	25 58.1	7 16.3	8 18.6
	運輸業・郵便業	16 100.0	7 43.8	6 37.5	6 37.5	3 18.8	2 12.5
	卸売業	22 100.0	4 18.2	6 27.3	6 27.3	4 18.2	7 31.8
	小売業	44 100.0	7 15.9	8 18.2	11 25.0	9 20.5	14 31.8
	飲食サービス業	17 100.0	4 23.5	4 23.5	5 29.4	2 11.8	2 11.8
	医療・福祉	21 100.0	11 52.4	7 33.3	9 42.9	8 38.1	3 14.3
	サービス業	41 100.0	15 36.6	13 31.7	9 22.0	9 22.0	3 7.3

<クロス集計>

■従業員数・設問上位5項目

- ・従業員の人材育成
大規模になるほど高くなる傾向にあります。
- ・新規従業員の採用
「101～300人」が高くなっています。
- ・設備等の老朽化への対応
大規模になるほど高くなる傾向にあります。
- ・デジタル技術への対応
「101～300人」が高くなっています。
- ・新規販路の開拓
大規模になるほど高くなる傾向にあります。

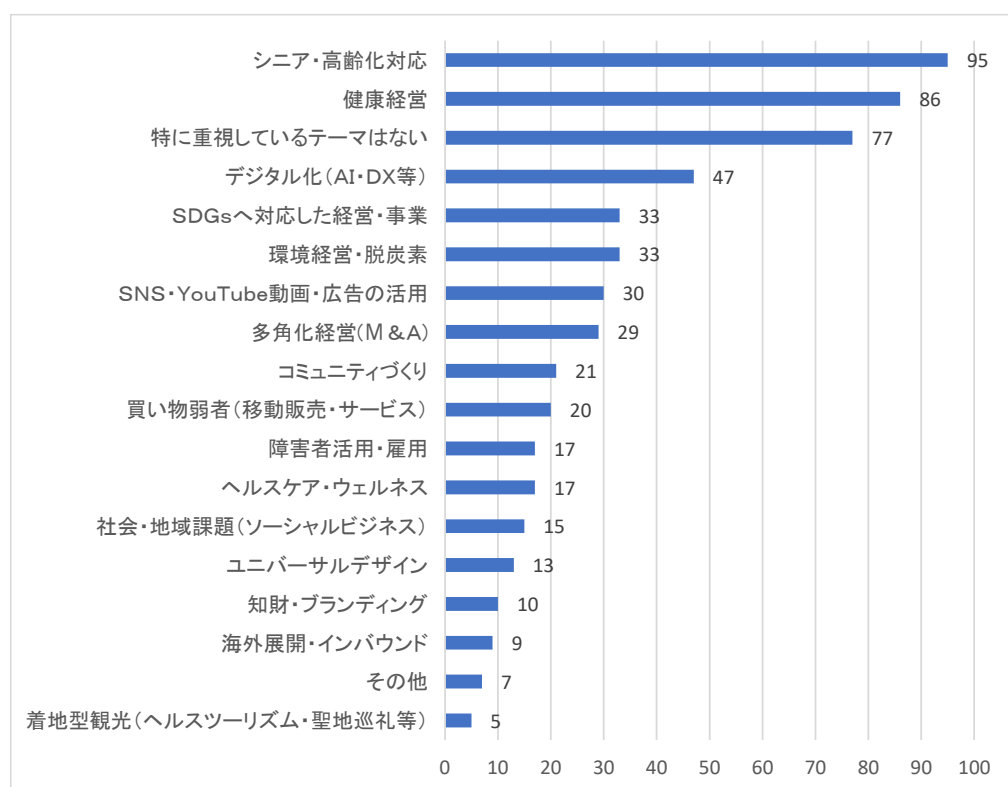
上段:度数		問13. 実施した取り組み					
下段:%		合計	従業員の 人材育成	新規従業員 の採用	設備等の老 朽化への対 応	デジタル技 術への対応	新規販路の 開拓
問4.従業員数	全体	288 100.0	93 32.3	94 32.6	93 32.3	57 19.8	52 18.1
	0人	31 100.0	— —	— —	9 29.0	3 9.7	2 6.5
	1～5人	103 100.0	19 18.4	17 16.5	26 25.2	14 13.6	21 20.4
	6～20人	81 100.0	35 43.2	36 44.4	28 34.6	18 22.2	16 19.8
	21～50人	45 100.0	23 51.1	21 46.7	19 42.2	10 22.2	6 13.3
	51～100人	10 100.0	5 50.0	6 60.0	4 40.0	4 40.0	2 20.0
	101～300人	12 100.0	7 58.3	10 83.3	3 25.0	6 50.0	5 41.7
	301人以上	6 100.0	4 66.7	4 66.7	4 66.7	2 33.3	— —

設問 1 4 新たな取り組みとして重視したい（している）テーマを教えてください。

イメージに近い番号3つまでを回答欄にご記入ください。

「シニア・高齢化対応」が最も高く 33.5%（除不：以下同じ）、次いで「健康経営」が 30.3%となっています。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	健康経営	86	27.9	30.3
2	環境経営・脱炭素	33	10.7	11.6
3	シニア・高齢化対応	95	30.8	33.5
4	デジタル化（A I・D X等）	47	15.3	16.5
5	コミュニティづくり	21	6.8	7.4
6	ユニバーサルデザイン	13	4.2	4.6
7	ヘルスケア・ウェルネス	17	5.5	6.0
8	社会・地域課題（ソーシャルビジネス）	15	4.9	5.3
9	S D G s へ対応した経営・事業	33	10.7	11.6
10	S N S ・ Y o u T u b e 動画・広告の活用	30	9.7	10.6
11	海外展開・インバウンド	9	2.9	3.2
12	多角化経営(M & A)	29	9.4	10.2
13	障害者活用・雇用	17	5.5	6.0
14	買い物弱者（移動販売・サービス）	20	6.5	7.0
15	着地型観光（ヘルスツーリズム・聖地巡礼等）	5	1.6	1.8
16	知財・ブランディング	10	3.2	3.5
17	その他	7	2.3	2.5
18	特に重視しているテーマはない	77	25.0	27.1
	不明	24	7.8	
	N（%ベース）	308	100	284



<クロス集計>

■業種（抜粋）・設問上位6項目

・健康経営

「医療・福祉」が高くなっています。

・環境経営・脱炭素

「医療・福祉」が高くなっています。

・シニア高齢化対応

「小売業」、「飲食サービス業」が高くなっています。

・デジタル化（AI・DX等）

業種による特徴は見られません。

・SDGsへ対応した経営・事業

業種による特徴は見られません。

・特に重視しているテーマはない

業種による特徴は見られません。

上段:度数		問14.新たな取り組み						
下段:%		合計	健康経営	環境経営・ 脱炭素	シニア・高 齢化対応	デジタル化 (AI・DX 等)	SDGsへ 対応した経 営・事業	特に重視し ているテー マはない
問1.業種	全体	282 100.0	86 30.5	32 11.3	94 33.3	47 16.7	33 11.7	76 27.0
	建設業	50 100.0	18 36.0	5 10.0	19 38.0	8 16.0	3 6.0	15 30.0
	製造業	42 100.0	12 28.6	4 9.5	11 26.2	6 14.3	7 16.7	10 23.8
	運輸業・郵便業	16 100.0	5 31.3	3 18.8	5 31.3	4 25.0	-	4 25.0
	卸売業	22 100.0	3 13.6	2 9.1	5 22.7	5 22.7	3 13.6	6 27.3
	小売業	44 100.0	13 29.5	3 6.8	22 50.0	5 11.4	4 9.1	13 29.5
	飲食サービス業	16 100.0	3 18.8	-	7 43.8	2 12.5	3 18.8	5 31.3
	医療・福祉	21 100.0	13 61.9	6 28.6	5 23.8	5 23.8	4 19.0	-
	サービス業	41 100.0	12 29.3	7 17.1	15 36.6	5 12.2	5 12.2	14 34.1

<クロス集計>

■従業員数・設問上位 6 項目

・健康経営

「51～100 人」が高くなっています。

・環境経営・脱炭素

大規模になるほど高くなる傾向にあります。101 人以上で顕著となります。

・シニア高齢化対応

大規模になるほど高くなる傾向にあります。

・デジタル化（AI・DX 等）

「101～300 人」が高くなっています。

・SDGs へ対応した経営・事業

「301 人以上」が高くなっています。

・特に重視しているテーマはない

「0 人」が高くなっています。

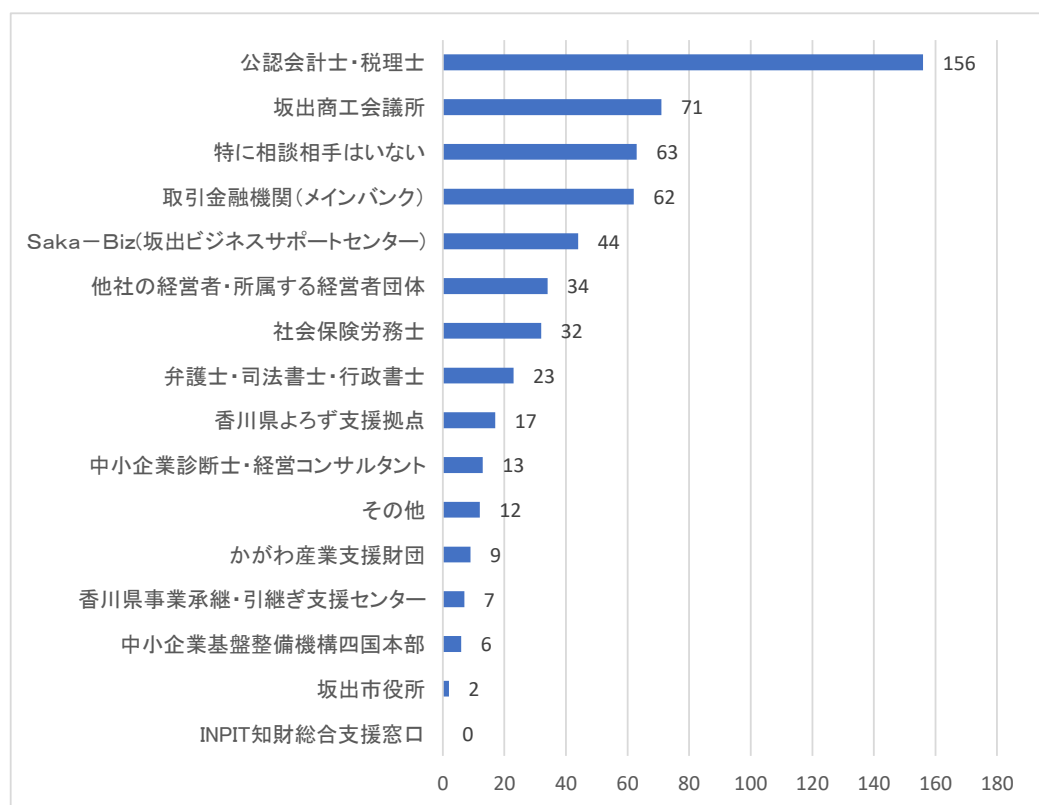
上段:度数		問14.新たな取り組み						
下段:%		合計	健康経営	環境経営・ 脱炭素	シニア・高 齢化対応	デジタル化 (AI・DX等)	SDGsへ対 応した経 営・事業	特に重視し ているテー マはない
問4.従業員数	全体	284 100.0	86 30.3	33 11.6	95 33.5	47 16.5	33 11.6	77 27.1
	0人	32 100.0	3 9.4	1 3.1	8 25.0	— —	6 18.8	15 46.9
	1～5人	102 100.0	31 30.4	7 6.9	28 27.5	9 8.8	8 7.8	32 31.4
	6～20人	77 100.0	24 31.2	8 10.4	30 39.0	18 23.4	8 10.4	19 24.7
	21～50人	46 100.0	17 37.0	6 13.0	19 41.3	9 19.6	3 6.5	7 15.2
	51～100人	10 100.0	6 60.0	1 10.0	2 20.0	4 40.0	2 20.0	2 20.0
	101～300人	11 100.0	3 27.3	7 63.6	5 45.5	5 45.5	3 27.3	— —
	301人以上	6 100.0	2 33.3	3 50.0	3 50.0	2 33.3	3 50.0	2 33.3

V 経営課題の相談相手について

設問15 経営課題を相談している（相談した）人を教えてください。イメージに近い番号3つまでを回答欄にご記入ください。

「公認会計士・税理士」が最も高く 52.0%（除不：以下同じ）、次いで「坂出商工会議所」が 23.7%となっています。

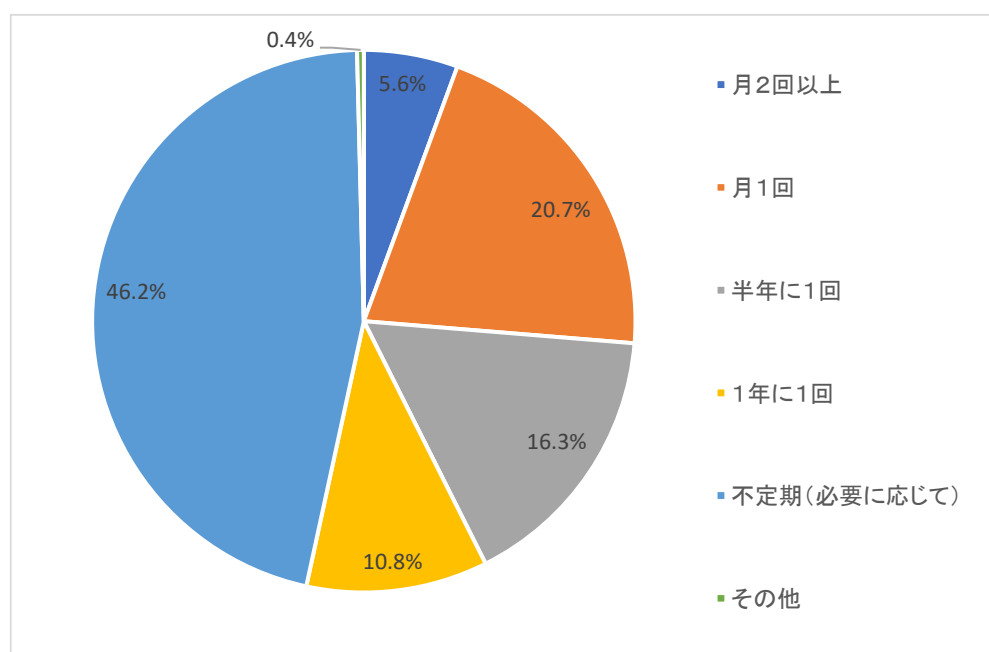
No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	坂出商工会議所	71	23.1	23.7
2	Saka-Biz(坂出ビジネスサポートセンター)	44	14.3	14.7
3	香川県よろず支援拠点	17	5.5	5.7
4	中小企業基盤整備機構四国本部	6	1.9	2.0
5	かがわ産業支援財団	9	2.9	3.0
6	坂出市役所	2	0.6	0.7
7	香川県事業承継・引継ぎ支援センター	7	2.3	2.3
8	他社の経営者・所属する経営者団体	34	11.0	11.3
9	弁護士・司法書士・行政書士	23	7.5	7.7
10	公認会計士・税理士	156	50.6	52.0
11	中小企業診断士・経営コンサルタント	13	4.2	4.3
12	社会保険労務士	32	10.4	10.7
13	取引金融機関（メインバンク）	62	20.1	20.7
14	INPIT知財総合支援窓口	0	0.0	0.0
15	特に相談相手はいない	63	20.5	21.0
16	その他	12	3.9	4.0
	不明	8	2.6	
	N（%ベース）	308	100	300



設問 1 6 経営課題の相談頻度を教えてください。該当する番号 1つ を回答欄にご記入ください。(設問 1 5で「15. 特に相談相手はいない」とご回答された方を除きます)。

「不定期（必要に応じて）」が最も高く 46.2%（除不：以下同じ）、次いで「月 1 回」が 20.7%となっています。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	月 2 回以上	14	4.5	5.6
2	月 1 回	52	16.9	20.7
3	半年に 1 回	41	13.3	16.3
4	1 年に 1 回	27	8.8	10.8
5	不定期（必要に応じて）	116	37.7	46.2
6	その他	1	0.3	0.4
	不明	57	18.5	
	N（%ベース）	308	100	251

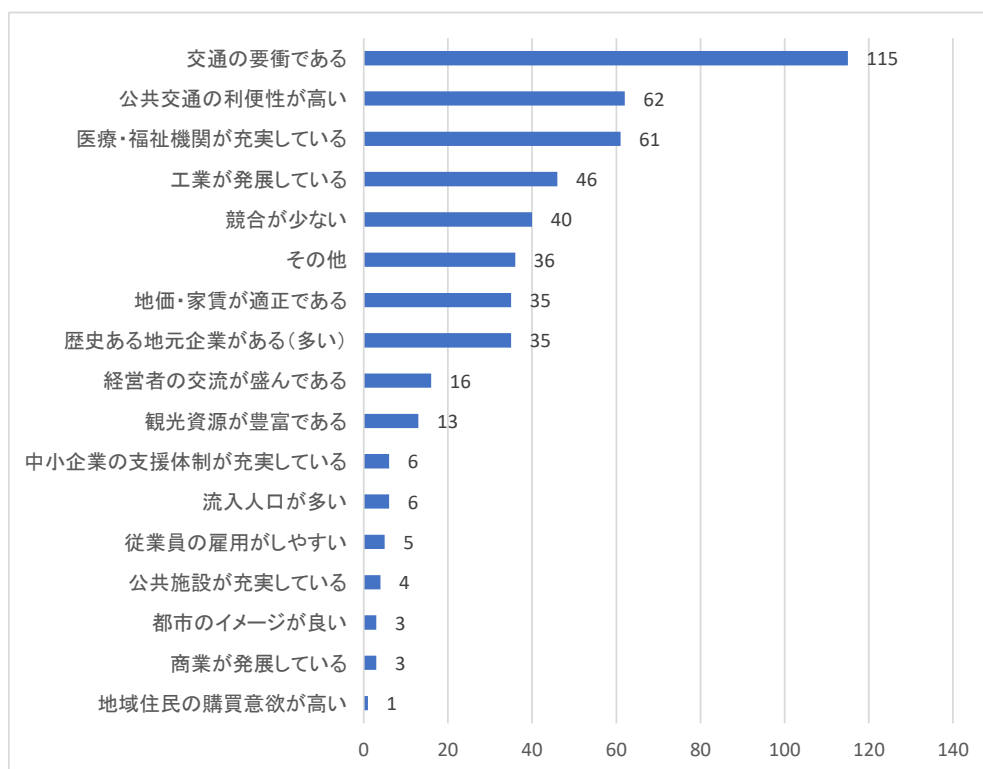


VI 坂出市の特徴について

設問 17 事業を行う上での坂出市の特徴（強み）を教えてください。イメージに近い番号3つまでを回答欄にご記入ください。

「交通の要衝である」が最も高く 42.1%（除不：以下同じ）、次いで「公共交通の利便性が高い」が 22.7%となっています。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	工業が発展している	46	14.9	16.8
2	観光資源が豊富である	13	4.2	4.8
3	医療・福祉機関が充実している	61	19.8	22.3
4	交通の要衝である	115	37.3	42.1
5	流入人口が多い	6	1.9	2.2
6	歴史ある地元企業がある（多い）	35	11.4	12.8
7	経営者の交流が盛んである	16	5.2	5.9
8	中小企業の支援体制が充実している	6	1.9	2.2
9	商業が発展している	3	1.0	1.1
10	公共施設が充実している	4	1.3	1.5
11	公共交通の利便性が高い	62	20.1	22.7
12	地域住民の購買意欲が高い	1	0.3	0.4
13	地価・家賃が適正である	35	11.4	12.8
14	競合が少ない	40	13.0	14.7
15	都市のイメージが良い	3	1.0	1.1
16	従業員の雇用がしやすい	5	1.6	1.8
17	その他	36	11.7	13.2
	不明	35	11.4	
	N（%ベース）	308	100	273



<クロス集計>

■業種（抜粋）・設問上位5項目

- ・工業が発展している
「運輸業・郵便業」「製造業」「建設業」が高くなっています。
- ・医療・福祉機関が充実している
「医療・福祉」が高くなっています。
- ・交通の要衝である
「医療・福祉」「製造業」「卸売業」が高くなっています。
- ・公共交通の利便性が高い
「医療・福祉」が高くなっています。
- ・競合が少ない
「飲食サービス業」が高くなっています。

上段:度数		問17.坂出市の強み					
下段:%		合計	工業が発展している	医療・福祉機関が充実している	交通の要衝である	公共交通の利便性が高い	競合が少ない
問1.業種	全体	272 100.0	46 16.9	61 22.4	114 41.9	62 22.8	40 14.7
	建設業	53 100.0	12 22.6	11 20.8	21 39.6	12 22.6	5 9.4
	製造業	41 100.0	11 26.8	10 24.4	21 51.2	8 19.5	5 12.2
	運輸業・郵便業	14 100.0	4 28.6	3 21.4	6 42.9	3 21.4	— —
	卸売業	22 100.0	1 4.5	3 13.6	12 54.5	6 27.3	1 4.5
	小売業	45 100.0	6 13.3	10 22.2	17 37.8	11 24.4	5 11.1
	飲食サービス業	15 100.0	— —	2 13.3	5 33.3	4 26.7	8 53.3
	医療・福祉	21 100.0	2 9.5	10 47.6	12 57.1	7 33.3	4 19.0
	サービス業	36 100.0	6 16.7	5 13.9	12 33.3	7 19.4	8 22.2

<クロス集計>

■従業員数・設問上位5項目

- ・工業が発展している
大規模になるほど高くなる傾向にあります。
- ・医療・福祉機関が充実している
大規模になるほど高くなる傾向にあります。
- ・交通の要衝である
「51～100人」が高くなっています。
- ・公共交通の利便性が高い
「101～300人」が高くなっています。
- ・競合が少ない
従業員数規模による特徴は見られません。

上段:度数 下段:%		問17.坂出市の強み					
		合計	工業が発展 している	医療・福祉 機関が充実 している	交通の要衝 である	公共交通の 利便性が高 い	競合が少な い
問4.従業員数	全体	273 100.0	46 16.8	61 22.3	115 42.1	62 22.7	40 14.7
	0人	31 100.0	2 6.5	8 25.8	9 29.0	6 19.4	4 12.9
	1～5人	100 100.0	11 11.0	18 18.0	27 27.0	29 29.0	20 20.0
	6～20人	71 100.0	10 14.1	15 21.1	35 49.3	13 18.3	10 14.1
	21～50人	44 100.0	14 31.8	14 31.8	27 61.4	7 15.9	3 6.8
	51～100人	10 100.0	4 40.0	4 40.0	7 70.0	1 10.0	2 20.0
	101～300人	12 100.0	5 41.7	－ －	7 58.3	5 41.7	1 8.3
	301人以上	5 100.0	－ －	2 40.0	3 60.0	1 20.0	－ －

VII 公的支援策の活用について

設問 1 8 現在活用している公的支援策を教えてください。

「既に活用している」場合には1、「これから活用したい」場合には2、「活用する予定はない」場合には3、「知らない・わからない」場合には4の番号に○をしてください。

<支援テーマ>

1 SDGs 経営対応支援

「知らない・わからない」が最も高く 42.3%（除不：以下同じ）、「既に活用している＋これから活用したい」の合計は 19.2%となりました。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	既に活用している	12	3.9	4.2
2	これから活用したい	43	14.0	15.0
3	活用する予定はない	110	35.7	38.5
4	知らない・わからない	121	39.3	42.3
	不明	22	7.1	
	N（%ベース）	308	100	286

既に活用している＋これから活用したい	55	17.9	19.2
--------------------	----	------	------

2 人材確保支援

「活用する予定はない」が最も高く 38.1%（除不：以下同じ）、「既に活用している＋これから活用したい」の合計は 36.7%となりました。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	既に活用している	20	6.5	7.0
2	これから活用したい	85	27.6	29.7
3	活用する予定はない	109	35.4	38.1
4	知らない・わからない	72	23.4	25.2
	不明	22	7.1	
	N（%ベース）	308	100	286

既に活用している＋これから活用したい	105	34.1	36.7
--------------------	-----	------	------

3 デジタル化支援

「活用する予定はない」が最も高く 38.2%（除不：以下同じ）、「既に活用している＋これから活用したい」の合計は 31.8%となりました。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	既に活用している	11	3.6	3.9
2	これから活用したい	79	25.6	27.9
3	活用する予定はない	108	35.1	38.2
4	知らない・わからない	85	27.6	30.0
	不明	25	8.1	
	N（%ベース）	308	100	283

既に活用している＋これから活用したい	90	29.2	31.8
--------------------	----	------	------

4. 知財・ブランディング支援

「活用する予定はない」が最も高く 47.2%（除不：以下同じ）、「既に活用している＋これから活用したい」の合計は 11.8%となりました。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	既に活用している	3	1.0	1.0
2	これから活用したい	31	10.1	10.8
3	活用する予定はない	135	43.8	47.2
4	知らない・わからない	117	38.0	40.9
	不明	22	7.1	
	N（%ベース）	308	100	286

既に活用している＋これから活用したい	34	11.1	11.8
--------------------	----	------	------

5. 販路開拓支援

「活用する予定はない」が最も高く 43.0%（除不：以下同じ）、「既に活用している＋これから活用したい」の合計は 24.1%となりました。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	既に活用している	5	1.6	1.7
2	これから活用したい	64	20.8	22.4
3	活用する予定はない	123	39.9	43.0
4	知らない・わからない	94	30.5	32.9
	不明	22	7.1	
	N（%ベース）	308	100	286

既に活用している＋これから活用したい	69	22.4	24.1
--------------------	----	------	------

6. 事業承継支援

「活用する予定はない」が最も高く 54.0%（除不：以下同じ）、「既に活用している＋これから活用したい」の合計は 15.8%となりました。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	既に活用している	7	2.3	2.5
2	これから活用したい	38	12.3	13.3
3	活用する予定はない	154	50.0	54.0
4	知らない・わからない	86	27.9	30.2
	不明	23	7.5	
	N（%ベース）	308	100	285

既に活用している＋これから活用したい	45	14.6	15.8
--------------------	----	------	------

7. 異業種・同業種連携支援

「活用する予定はない」が最も高く 42.6%（除不：以下同じ）、「既に活用している＋これから活用したい」の合計は 23.9%となりました。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	既に活用している	10	3.2	3.5
2	これから活用したい	58	18.8	20.4
3	活用する予定はない	121	39.3	42.6
4	知らない・わからない	95	30.8	33.5
	不明	24	7.8	
	N（%ベース）	308	100	284

既に活用している＋これから活用したい	68	22.0	23.9
--------------------	----	------	------

8. 創業支援

「活用する予定はない」が最も高く 59.2%（除不：以下同じ）、「既に活用している＋これから活用したい」の合計は 9.6%となりました。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	既に活用している	7	2.3	2.5
2	これから活用したい	20	6.5	7.1
3	活用する予定はない	167	54.2	59.2
4	知らない・わからない	88	28.6	31.2
	不明	26	8.4	
	N（%ベース）	308	100	282

既に活用している＋これから活用したい	27	8.8	9.6
--------------------	----	-----	-----

9. 観光関係支援（特産品・土産品開発等）

「活用する予定はない」が最も高く 61.3%（除不：以下同じ）、「既に活用している＋これから活用したい」の合計は 5.4%となりました。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	既に活用している	3	1.0	1.1
2	これから活用したい	12	3.9	4.3
3	活用する予定はない	173	56.2	61.3
4	知らない・わからない	94	30.5	33.3
	不明	26	8.4	
	N（%ベース）	308	100	282

既に活用している＋これから活用したい	15	4.9	5.4
--------------------	----	-----	-----

10. 農業経営支援（6次産業化・法人化等）

「活用する予定はない」が最も高く 59.9%（除不：以下同じ）、「既に活用している＋これから活用したい」の合計は 6.1%となりました。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	既に活用している	1	0.3	0.4
2	これから活用したい	16	5.2	5.7
3	活用する予定はない	169	54.9	59.9
4	知らない・わからない	96	31.2	34.0
	不明	26	8.4	
	N（%ベース）	308	100	282

既に活用している＋これから活用したい	17	5.5	6.1
--------------------	----	-----	-----

<支援策>

11. 経営革新計画認定支援

「活用する予定はない」が最も高く 47.0%（除不：以下同じ）、「既に活用している＋これから活用したい」の合計は 12.0%となりました。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	既に活用している	6	1.9	2.1
2	これから活用したい	28	9.1	9.9
3	活用する予定はない	133	43.2	47.0
4	知らない・わからない	116	37.7	41.0
	不明	25	8.1	
	N（%ベース）	308	100	283

既に活用している＋これから活用したい	34	11.0	12.0
--------------------	----	------	------

12. 経営改善計画策定支援

「活用する予定はない」が最も高く 48.2%（除不：以下同じ）、「既に活用している＋これから活用したい」の合計は 12.4%となりました。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	既に活用している	3	1.0	1.1
2	これから活用したい	32	10.4	11.3
3	活用する予定はない	137	44.5	48.2
4	知らない・わからない	112	36.4	39.4
	不明	24	7.8	
	N（%ベース）	308	100	284

既に活用している＋これから活用したい	35	11.4	12.4
--------------------	----	------	------

13. 専門家派遣

「活用する予定はない」が最も高く 54.6%（除不：以下同じ）、「既に活用している＋これから活用したい」の合計は 9.5%となりました。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	既に活用している	5	1.6	1.8
2	これから活用したい	22	7.1	7.7
3	活用する予定はない	155	50.3	54.6
4	知らない・わからない	102	33.1	35.9
	不明	24	7.8	
	N（%ベース）	308	100	284

既に活用している＋これから活用したい	27	8.7	9.5
--------------------	----	-----	-----

14. 法律相談

「活用する予定はない」が最も高く 56.2%（除不：以下同じ）、「既に活用している＋これから活用したい」の合計は 13.1%となりました。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	既に活用している	6	1.9	2.1
2	これから活用したい	31	10.1	11.0
3	活用する予定はない	159	51.6	56.2
4	知らない・わからない	87	28.2	30.7
	不明	25	8.1	
	N（%ベース）	308	100	283

既に活用している＋これから活用したい	37	12.0	13.1
--------------------	----	------	------

15. セミナー・研修

「活用する予定はない」が最も高く 39.9%（除不：以下同じ）、「既に活用している＋これから活用したい」の合計は 38.8%となりました。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	既に活用している	24	7.8	8.4
2	これから活用したい	87	28.2	30.4
3	活用する予定はない	114	37.0	39.9
4	知らない・わからない	61	19.8	21.3
	不明	22	7.1	
	N（%ベース）	308	100	286

既に活用している＋これから活用したい	111	36.0	38.8
--------------------	-----	------	------

16. 補助金・助成金

「これから活用したい」が最も高く 34.4%（除不：以下同じ）、「既に活用している＋これから活用したい」の合計は 66.7%となりました。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	既に活用している	95	30.8	32.3
2	これから活用したい	101	32.8	34.4
3	活用する予定はない	60	19.5	20.4
4	知らない・わからない	38	12.3	12.9
	不明	14	4.5	
	N（%ベース）	308	100	294

既に活用している＋これから活用したい	196	63.6	66.7
--------------------	-----	------	------

17. 各種共済（小規模企業共済・経営セーフティ共済・中小企業退職金共済）

「活用する予定はない」が最も高く 33.0%（除不：以下同じ）、「既に活用している＋これから活用したい」の合計は 46.6%となりました。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	既に活用している	91	29.5	31.9
2	これから活用したい	42	13.6	14.7
3	活用する予定はない	94	30.5	33.0
4	知らない・わからない	58	18.8	20.4
	不明	23	7.5	
	N（%ベース）	308	100	285

既に活用している＋これから活用したい	133	43.1	46.6
--------------------	-----	------	------

18. 商談会出展支援

「活用する予定はない」が最も高く 59.6%（除不：以下同じ）、「既に活用している＋これから活用したい」の合計は 10.2%となりました。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	既に活用している	6	1.9	2.1
2	これから活用したい	23	7.5	8.1
3	活用する予定はない	170	55.2	59.6
4	知らない・わからない	86	27.9	30.2
	不明	23	7.5	
	N（%ベース）	308	100	285

既に活用している＋これから活用したい	29	9.4	10.2
--------------------	----	-----	------

19. 記帳指導・税務相談

「活用する予定はない」が最も高く 50.7%（除不：以下同じ）、「既に活用している＋これから活用したい」の合計は 26.2%となりました。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	既に活用している	32	10.4	11.2
2	これから活用したい	43	14.0	15.0
3	活用する予定はない	145	47.1	50.7
4	知らない・わからない	66	21.4	23.1
	不明	22	7.1	
	N（%ベース）	308	100	286

既に活用している＋これから活用したい	75	24.4	26.2
--------------------	----	------	------

20. 制度融資・設備貸与・設備資金

「活用する予定はない」が最も高く 44.1%（除不：以下同じ）、「既に活用している＋これから活用したい」の合計は 29.4%となりました。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	既に活用している	24	7.8	8.4
2	これから活用したい	60	19.5	21.0
3	活用する予定はない	126	40.9	44.1
4	知らない・わからない	76	24.7	26.6
	不明	22	7.1	
	N（%ベース）	308	100	286

既に活用している＋これから活用したい	84	27.3	29.4
--------------------	----	------	------

21. BCP（事業継続計画）策定支援

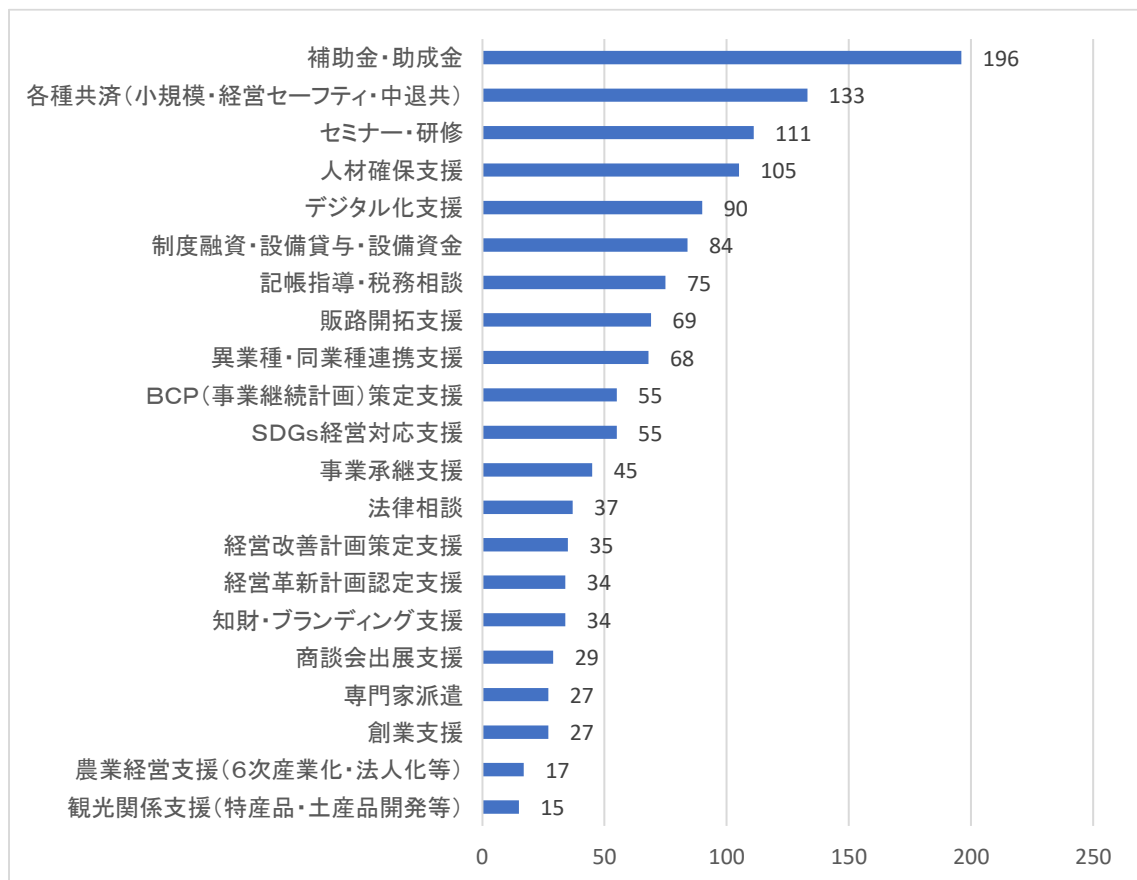
「活用する予定はない」が最も高く 45.1%（除不：以下同じ）、「既に活用している＋これから活用したい」の合計は 19.2%となりました。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	既に活用している	12	3.9	4.2
2	これから活用したい	43	14.0	15.0
3	活用する予定はない	129	41.9	45.1
4	知らない・わからない	102	33.1	35.7
	不明	22	7.1	
	N（%ベース）	308	100	286

既に活用している＋これから活用したい	55	17.9	19.2
--------------------	----	------	------

<公的支援施策の活用意向（既に活用している＋これから活用したい）>

設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
問18-1. S D G s 経営対応支援	55	17.9	19.2
問18-2. 人材確保支援	105	34.1	36.7
問18-3. デジタル化支援	90	29.2	31.8
問18-4. 知財・ブランディング支援	34	11.1	11.8
問18-5. 販路開拓支援	69	22.4	24.1
問18-6. 事業承継支援	45	14.6	15.8
問18-7. 異業種・同業種連携支援	68	22.0	23.9
問18-8. 創業支援	27	8.8	9.6
問18-9. 観光関係支援（特産品・土産品開発等）	15	4.9	5.4
問18-10. 農業経営支援（6次産業化・法人化等）	17	5.5	6.1
問18-11. 経営革新計画認定支援	34	11.0	12.0
問18-12. 経営改善計画策定支援	35	11.4	12.4
問18-13. 専門家派遣	27	8.7	9.5
問18-14. 法律相談	37	12.0	13.1
問18-15. セミナー・研修	111	36.0	38.8
問18-16. 補助金・助成金	196	63.6	66.7
問18-17. 各種共済（小規模・経営セーフティ・中退共）	133	43.1	46.6
問18-18. 商談会出展支援	29	9.4	10.2
問18-19. 記帳指導・税務相談	75	24.4	26.2
問18-20. 制度融資・設備貸与・設備資金	84	27.3	29.4
問18-21. B C P（事業継続計画）策定支援	55	17.9	19.2



健康経営・ヘルスケア産業に関する意識調査
(アンケート調査)
(中間報告)

令和4年10月

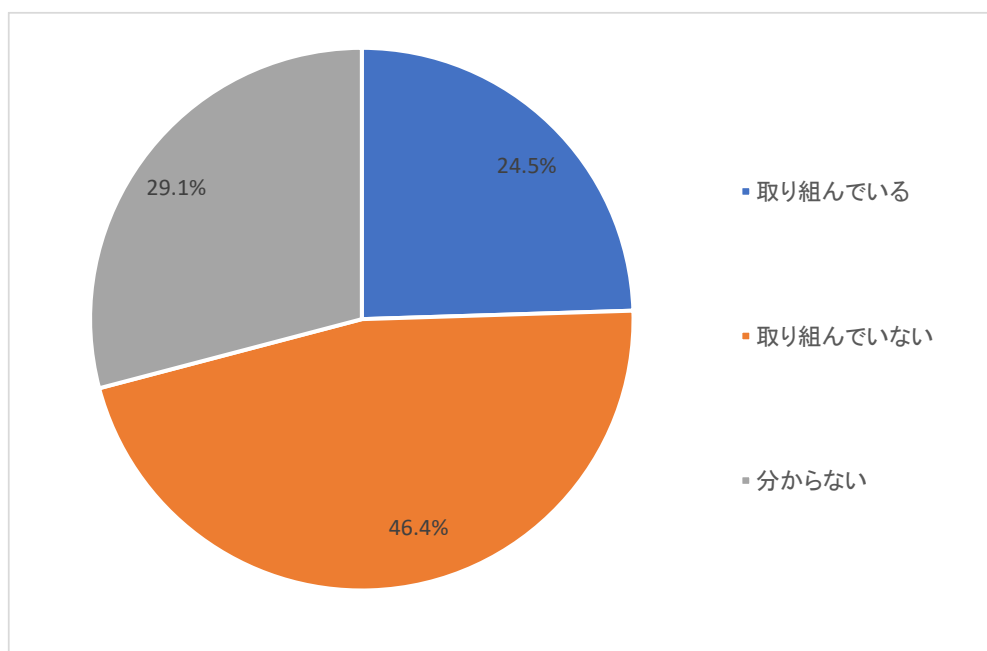
坂出市建設経済部産業観光課

I 健康経営について

設問 1—1 「健康経営」についてお伺いします。貴社では「健康経営」に取り組んでいますか？イメージに近い番号 1 つを回答欄にご記入ください。

健康経営に取り組んでいる件数は 74、取組割合は 24.5%（除不）となりました。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	取り組んでいる	74	24.0	24.5
2	取り組んでいない	140	45.5	46.4
3	分からない	88	28.6	29.1
	不明	6	1.9	
	N（%ベース）	308	100	302



<クロス集計>

■業種（抜粋）

業種別では、「医療・福祉」「卸売業」「運輸業・郵便業」での取り組みが高くなっています。「取り組んでいない」の割合は「飲食サービス業」、「サービス業」で高くなっています。「分からない」は「小売業」の割合が高くなっています。

上段:度数 下段:%		問1-1.健康経営の取り組み			
		合計	取り組んでいる	取り組んでいない	分からない
問1.業種	全体	299 100.0	74 24.7	138 46.2	87 29.1
	建設業	55 100.0	13 23.6	23 41.8	19 34.5
	製造業	45 100.0	12 26.7	21 46.7	12 26.7
	運輸業・郵便業	16 100.0	5 31.3	6 37.5	5 31.3
	卸売業	22 100.0	8 36.4	6 27.3	8 36.4
	小売業	49 100.0	5 10.2	23 46.9	21 42.9
	飲食サービス業	17 100.0	3 17.6	10 58.8	4 23.5
	医療・福祉	21 100.0	10 47.6	7 33.3	4 19.0
	サービス業	41 100.0	10 24.4	23 56.1	8 19.5

■従業員数

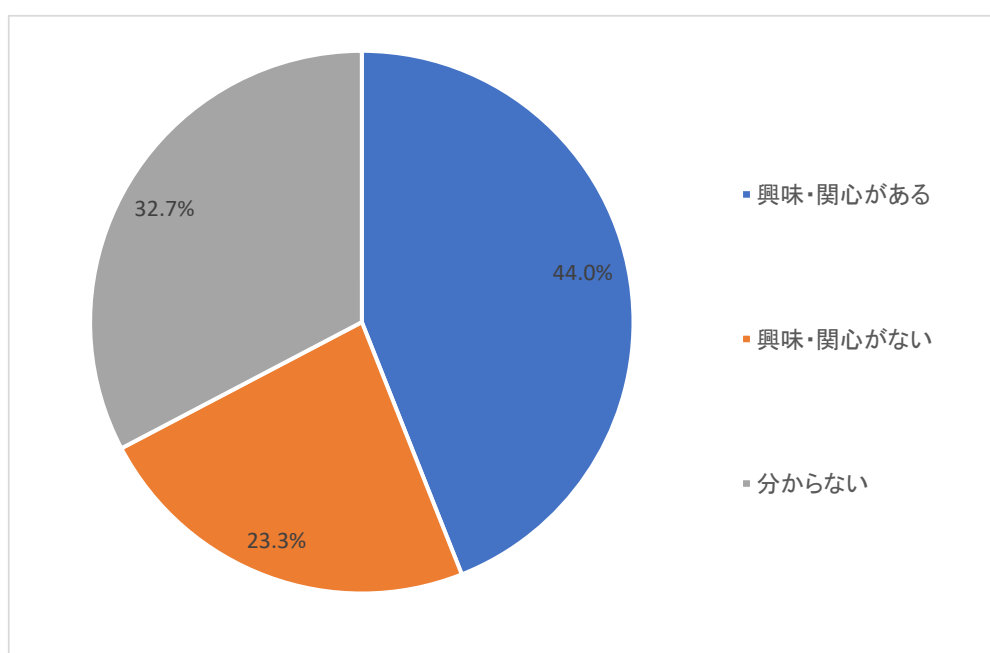
従業員数別では、「51～100人」での取り組みが高くなっています。「取り組んでいない」の割合は従業員が少なくなるにつれ、高くなっています。

上段:度数 下段:%		問1-1.健康経営の取り組み			
		合計	取り組んでいる	取り組んでいない	分からない
問4.従業員数	全体	301 100.0	74 24.6	140 46.5	87 28.9
	0人	38 100.0	1 2.6	28 73.7	9 23.7
	1～5人	112 100.0	19 17.0	57 50.9	36 32.1
	6～20人	79 100.0	22 27.8	32 40.5	25 31.6
	21～50人	44 100.0	17 38.6	14 31.8	13 29.5
	51～100人	10 100.0	7 70.0	3 30.0	— —
	101～300人	12 100.0	6 50.0	3 25.0	3 25.0
	301人以上	6 100.0	2 33.3	3 50.0	1 16.7

設問 1－2 貴社の「健康経営」の推進に興味・関心がありますか。イメージに近い番号 1 つを回答欄にご記入ください。

健康経営に興味・関心ある件数は 132、興味・関心割合は 44.0%（除不）となりました。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	興味・関心がある	132	42.9	44.0
2	興味・関心がない	70	22.7	23.3
3	分からない	98	31.8	32.7
	不明	8	2.6	
	N（％ベース）	308	100	300



<クロス集計>

■業種（抜粋）

業種別では、「医療・福祉」での取り組みが高くなっています。「小売業」「卸売業」の「分からない」の割合が高くなっています。

上段:度数 下段:%		問1-2.健康経営の興味・関心			
		合計	興味・関心 がある	興味・関心 がない	分からない
問1.業種	全体	297 100.0	132 44.4	70 23.6	95 32.0
	建設業	55 100.0	25 45.5	12 21.8	18 32.7
	製造業	43 100.0	20 46.5	8 18.6	15 34.9
	運輸業・郵便業	16 100.0	8 50.0	3 18.8	5 31.3
	卸売業	22 100.0	9 40.9	3 13.6	10 45.5
	小売業	50 100.0	16 32.0	11 22.0	23 46.0
	飲食サービス業	17 100.0	7 41.2	6 35.3	4 23.5
	医療・福祉	21 100.0	16 76.2	5 23.8	-
	サービス業	41 100.0	18 43.9	10 24.4	13 31.7

■従業員数

従業員数別では、「51～100人」での取り組みが高くなっています。「0人」の「分からない」の割合が高くなっています。

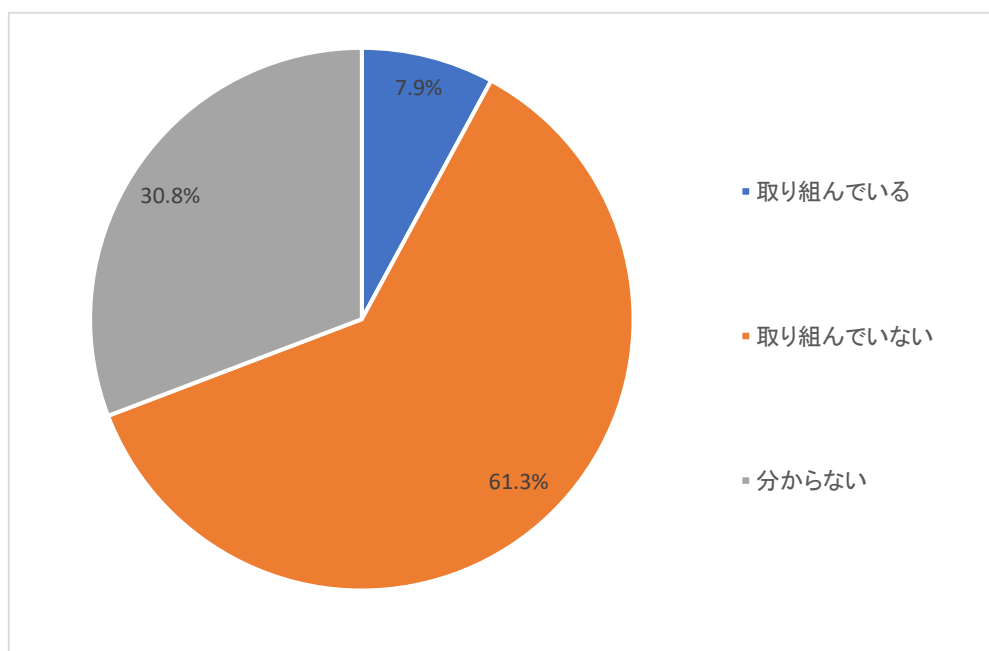
上段:度数 下段:%		問1-2.健康経営の興味・関心			
		合計	興味・関心 がある	興味・関心 がない	分からない
問4.従業員数	全体	299 100.0	132 44.1	70 23.4	97 32.4
	0人	38 100.0	9 23.7	12 31.6	17 44.7
	1～5人	111 100.0	40 36.0	35 31.5	36 32.4
	6～20人	78 100.0	34 43.6	17 21.8	27 34.6
	21～50人	44 100.0	30 68.2	4 9.1	10 22.7
	51～100人	10 100.0	8 80.0	1 10.0	1 10.0
	101～300人	12 100.0	7 58.3	-	5 41.7
	301人以上	6 100.0	4 66.7	1 16.7	1 16.7

Ⅱ ヘルスケア産業について

設問2—1 「ヘルスケア産業」についてお伺いします。貴社では「ヘルスケア産業」に関連する事業に取り組んでいますか？イメージに近い番号1つを回答欄にご記入ください。

ヘルスケア産業に関する事業に取り組んでいる件数は24、取組割合は7.9%（除不）となりました。

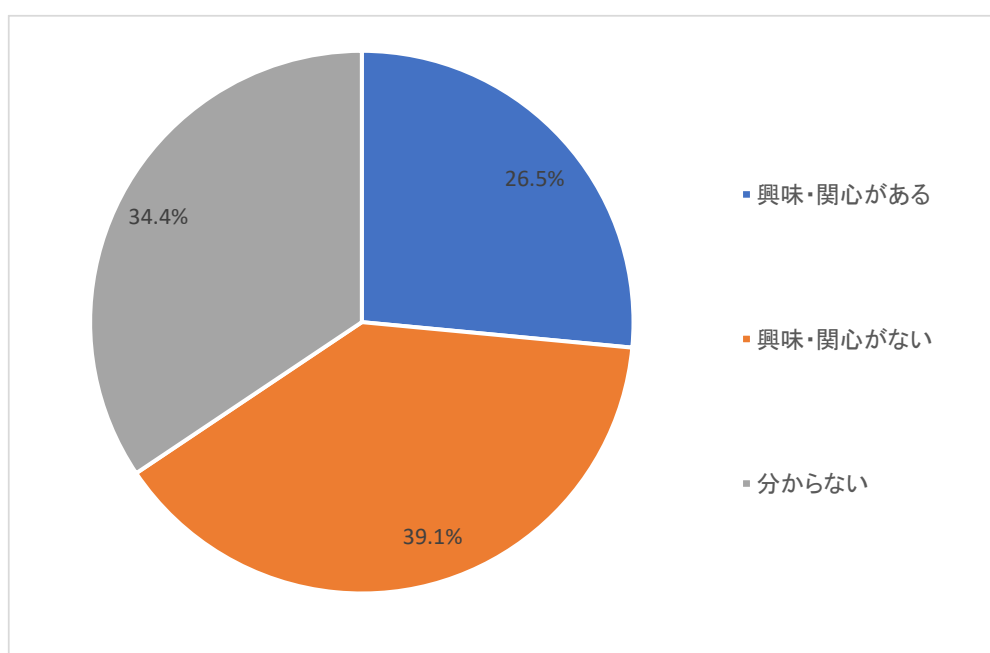
No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	取り組んでいる	24	7.8	7.9
2	取り組んでいない	185	60.1	61.3
3	分からない	93	30.2	30.8
	不明	6	1.9	
	N（%ベース）	308	100	302



設問 2－2 貴社の事業展開のうえで、ヘルスケア産業への展開に興味・関心がありますか。イメージに近い番号 1 つを回答欄にご記入ください。

ヘルスケア産業に興味・関心ある件数は 80、興味・関心割合は 26.5%（除不）となりました。

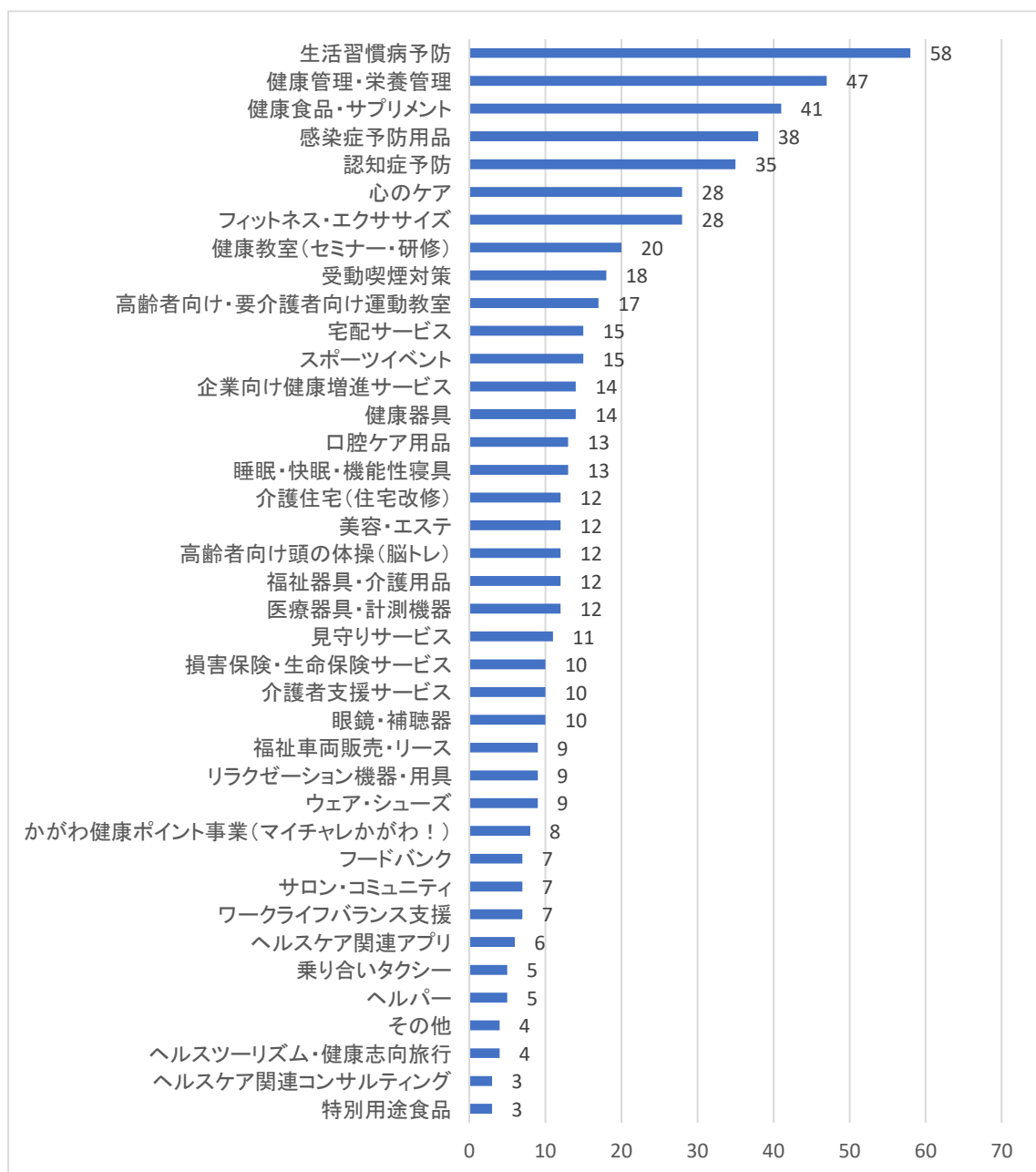
No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	興味・関心がある	80	26.0	26.5
2	興味・関心がない	118	38.3	39.1
3	分からない	104	33.8	34.4
	不明	6	1.9	
	N（％ベース）	308	100	302



設問3 **設問2-2**で「1. 興味・関心がある」「3. わからない」とご回答いただいた方にお伺いします。ヘルスケア産業の取り組みとして貴社で検討したいテーマ・事業を教えてください（既に取り組み中のものも含みます）。イメージに近い番号全てを回答欄にご記入ください。

「生活習慣病予防」が最も高く 36.5%（除不：以下同じ）、次いで「健康管理・栄養管理」が 29.6%となっています。

No.	設問項目	件数	(全体)%	(除不)%
1	健康食品・サプリメント	41	13.3	25.8
2	医療器具・計測機器	12	3.9	7.5
3	健康器具	14	4.5	8.8
4	睡眠・快眠・機能性寝具	13	4.2	8.2
5	ウェア・シューズ	9	2.9	5.7
6	感染症予防用品	38	12.3	23.9
7	リラクゼーション機器・用具	9	2.9	5.7
8	口腔ケア用品	13	4.2	8.2
9	福祉器具・介護用品	12	3.9	7.5
10	眼鏡・補聴器	10	3.2	6.3
11	福祉車両販売・リース	9	2.9	5.7
12	特別用途食品	3	1.0	1.9
13	フィットネス・エクササイズ	28	9.1	17.6
14	スポーツイベント	15	4.9	9.4
15	高齢者向け・要介護者向け運動教室	17	5.5	10.7
16	宅配サービス	15	4.9	9.4
17	見守りサービス	11	3.6	6.9
18	企業向け健康増進サービス	14	4.5	8.8
19	介護者支援サービス	10	3.2	6.3
20	損害保険・生命保険サービス	10	3.2	6.3
21	健康教室（セミナー・研修）	20	6.5	12.6
22	高齢者向け頭の体操（脳トレ）	12	3.9	7.5
23	ヘルスケア関連アプリ	6	1.9	3.8
24	美容・エステ	12	3.9	7.5
25	ヘルスケア関連コンサルティング	3	1.0	1.9
26	ヘルパー	5	1.6	3.1
27	乗り合いタクシー	5	1.6	3.1
28	介護住宅（住宅改修）	12	3.9	7.5
29	ヘルスツーリズム・健康志向旅行	4	1.3	2.5
30	生活習慣病予防	58	18.8	36.5
31	健康管理・栄養管理	47	15.3	29.6
32	認知症予防	35	11.4	22.0
33	ワークライフバランス支援	7	2.3	4.4
34	受動喫煙対策	18	5.8	11.3
35	サロン・コミュニティ	7	2.3	4.4
36	心のケア	28	9.1	17.6
37	フードバンク	7	2.3	4.4
38	かがわ健康ポイント事業（マイチャレかがわ！）	8	2.6	5.0
39	その他	4	1.3	2.5
	不明	149	48.4	
	N（%ベース）	308	100	159



<クロス集計>

■業種（抜粋）・設問上位8項目

- ・健康食品・サプリメント
「小売業」、「飲食サービス業」が高くなっています。
- ・感染予防用品
「医療・福祉」が高くなっています。
- ・フィットネス・エクササイズ
「サービス業」、「医療・福祉」が高くなっています。
- ・健康教室（セミナー・研修）
「医療・福祉」が高くなっています。
- ・生活習慣病予防
「医療・福祉」、「卸売業」が高くなっています。
- ・健康管理・栄養管理
「卸売業」「医療・福祉」が高くなっています。
- ・認知症予防
「飲食サービス業」が高くなっています。
- ・心のケア
「医療・福祉」が高くなっています。

上段:度数		問3 検討したいテーマ								
下段:%		合計	健康食品・サプリメント	感染症予防用品	フィットネス・エクササイズ	健康教室（セミナー・研修）	生活習慣病予防	健康管理・栄養管理	認知症予防	心のケア
問1.業種	全体	158	41	38	28	20	58	47	35	28
		100.0	25.9	24.1	17.7	12.7	36.7	29.7	22.2	17.7
	建設業	26	4	6	2	1	6	6	3	2
		100.0	15.4	23.1	7.7	3.8	23.1	23.1	11.5	7.7
	製造業	15	4	2	1	1	5	6	4	4
		100.0	26.7	13.3	6.7	6.7	33.3	40.0	26.7	26.7
	卸売業	14	4	2	2	—	7	7	1	3
		100.0	28.6	14.3	14.3	—	50.0	50.0	7.1	21.4
	小売業	31	11	8	6	3	6	6	7	2
		100.0	35.5	25.8	19.4	9.7	19.4	19.4	22.6	6.5
	飲食サービス業	9	3	2	1	1	2	1	4	2
		100.0	33.3	22.2	11.1	11.1	22.2	11.1	44.4	22.2
	医療・福祉	19	5	6	4	6	12	9	7	8
		100.0	26.3	31.6	21.1	31.6	63.2	47.4	36.8	42.1
	サービス業	25	5	4	6	6	8	4	7	4
		100.0	20.0	16.0	24.0	24.0	32.0	16.0	28.0	16.0

<クロス集計>

※本項目のみ総数がすくないため「301人以上」以外の傾向を記載しています。

■従業員数・設問上位8項目

・健康食品・サプリメント

「21～51人」が高くなっています。

・感染予防用品

「51～100人」が高くなっています。

・フィットネス・エクササイズ

「51～100人」が高くなっています。

・健康教室（セミナー・研修）

「51～100人」が高くなっています。

・生活習慣病予防

「51～100人」が高くなっています。

・健康管理・栄養管理

「51～100人」が高くなっています。

・認知症予防

「51～100人」が高くなっています。

・心のケア

「1～5人」が高くなっています。

上段:度数		問3 検討したいテーマ								
下段:%		合計	健康食品・ サプリメント	感染症予防 用品	フィットネ ス・エクサ サイズ	健康教室 (セミナー・ 研修)	生活習慣病 予防	健康管理・ 栄養管理	認知症予防	心のケア
問4.従業員数	全体	159 100.0	41 25.8	38 23.9	28 17.6	20 12.6	58 36.5	47 29.6	35 22.0	28 17.6
	0人	21 100.0	5 23.8	3 14.3	4 19.0	2 9.5	7 33.3	6 28.6	4 19.0	4 19.0
	1～5人	61 100.0	18 29.5	10 16.4	11 18.0	7 11.5	21 34.4	18 29.5	10 16.4	13 21.3
	6～20人	33 100.0	8 24.2	11 33.3	4 12.1	4 12.1	14 42.4	8 24.2	10 30.3	4 12.1
	21～50人	28 100.0	9 32.1	9 32.1	3 10.7	3 10.7	7 25.0	11 39.3	5 17.9	5 17.9
	51～100人	7 100.0	— —	3 42.9	5 71.4	2 28.6	5 71.4	3 42.9	3 42.9	1 14.3
	101～300人	7 100.0	1 14.3	2 28.6	1 14.3	— —	2 28.6	— —	1 14.3	— —
	301人以上	2 100.0	— —	— —	— —	2 100.0	2 100.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0

【アンケート自由回答】 坂出市の中小企業・小規模事業振興に対するご意見等ご記入ください。

- ・市内の会社同士、又は近隣の市町とマッチングできる機会を増やして欲しい。コロナ禍の中でなかなか色々な方々と会う機会が少なくなりました。ZOOM 対応でも構わないのでそういう物を設けて欲しいです
- ・災害時に市内にある会社が、それぞれどういった行動が出来て何を支援できるか、支援して欲しいかというネットワーク作りから始めてみるのも良いと思います。多かれ少なかれ経営者として乗り越えいかなくてはならない、震災に対応していかなければならないので・・・
若者や年配の方、女性、それぞれが活躍できる、色々な層の集まれる会も開催して欲しい。きっと皆刺激になると思います
- ・調剤薬局を経営しております。今後、予想される超高齢社会においては介護事業所との連携が必要不可欠と存じます。介護事業所の皆様が薬局に期待されること、希望される事を知りたいです。マッチングの機会を設けて頂くと助かります
- ・若人が定着する町づくりをお願いします
- ・教育に対する補助金を増やしてほしい
- ・かつてのキャリアを地方で十分に活用できていない人などと、そのニーズがある企業との就業マッチング等
- ・M & A 企業等、知りたい
- ・支援機関の支援体制を強化してほしい
- ・地元企業（支社、支所ではなく毎年坂出市に税金を納める企業）に対して、優先的に事業や案件がまわるようにしてほしい
- ・坂出市の公共工事は坂出市の業者が行うべきである
- ・建設業では、力はないが今から伸ばしたいと思っている会社の一社が弊社でございます。点数制度やランク付けにとらわれない地域性を重視した発注に期待しております
- ・特に期待するものは無い
- ・駅前の道路を早くして下さい
- ・建設業の人材不足、特に若者へのイメージ、移動式クレーンO. P の特殊性への先入感
- ・土地（都市部の）の固定資産税の減額をお願いしたい
- ・住みやすい町づくりして人口の増加、人材育成
- ・環境先進地域、省エネ・新エネ事業先進地域、SDG's 推進先進地域、農水産業をベースとした地域づくり先進地域、単に経済性追求でなく住み易くみんなの多様性を重視（大事にする）する地域を目指したい
- ・市内の小規模事業者でネットショップ・ECサイトについての情報交換する場が欲しい。（ネット売上5,000万円以下くらいで）（商工会議所ではネットビジネスをしている資料がない、Saka-Biz ではそういうマッチングをしていない）
- ・坂出市の強みは、医療と教育です。強みを活かして少子化と人口減少に対応しなければ、中小企業が生き残る事はできません。産業労働者は住みやすい市外に住み、又、余力のある市内在住者の子息も利便

性のある市外に新居を作って、便利な交通機関を利用して市内の中小企業等にやって来ます。昼間の人口は多いと聞いています。しかし街のにぎわいがなく、坂出市内で物を買おうとする人は限定されているようです。ほしい物が買える店・施設がそもそも存在していません。まずは市長を中心としての市政に、坂出市の発展は依存しています。少子化・人口の減少をまず第一に取り組まなければ市の発展はありません。若い人に、特に子供がいる家庭にメリットがある政策を出す必要があります。駅前に近隣の市町にならぶにぎわい施設を作り、明石市の政策に倣った若者受けする優遇政策を出す必要があります。そうすれば自ずと人材が集まり中小企業は残ります

- ・ もっと工事を増やして欲しい、支援機関や内容をもっと周知して欲しい
- ・ 人口減少を止めて欲しい
- ・ 国、県などによる事業計画や事業振興に関する説明会や討論会等の開催案内があれば、将来の展望の指針になるので参加したいと思います
- ・ 市内の会社同士でマッチングできる機会を増やしてほしい
- ・ コロナの影響で売上げが落ちている事業所への継続性のある支援をお願いしたい
- ・ 支援機関の支援体制を強化してほしい
- ・ すぐには思いつきませんが、これから考えていきたいと思います
- ・ 活気あふれる坂出市になってほしい
- ・ 労働者がくらしやすい、環境整備（例）通勤時間帯の交通渋滞の改善、コンビニ、カフェ、公園等、昼休み過ごせる場や店をふやす
- ・ 工業事業費を増やしてほしい
- ・ 観光、イベント企画等、人々が集まる仕掛けを実施頂きたい
- ・ 坂出市はむり。補助金、助成金が各市にくらべてなさすぎる！
- ・ 駅前の人口を増やして活性化してほしい
- ・ 工業などにも力を入れてほしいと思います
- ・ 坂出市（地元）の中でも活躍できる場を多く与えて頂きたい。※香川県内の他の市、町では地元企業に優先発注している業務の割合が非常に多いと感じる⇒地元企業の育成に優先発注を！！発災時に一番に発動できるのは地元企業である
- ・ 坂出市民は、企業、個人共含め、自分達の置かれている環境の良さをさて置いて、他方に要求しすぎる方向がある。自己本位、自己中心
- ・ 公共工事は地元企業を使ってほしい
- ・ 健康施設の充実、テニスコート、卓球場、ゲートボール場
- ・ 中心市街地全体の刷新（空き店舗対策、JR 前整備等）を図ってほしい
- ・ アピール度が低い
- ・ 坂出市についての発信となる人材がいらない（市長ではアピール弱すぎ）
- ・ ケーブルテレビなどで積極的に PR して欲しい
- ・ 商業施設の集まる、新たな開発エリアを開発して欲しい

【アンケート「その他」欄の回答】

設問 1（主な業種）

学校教育
鋼船の造修業
食品輸出
産業廃棄物収集運搬業
登記、測量
保険
非破壊検査
環境計量証明業
帆布製品加工施工
製版業

設問 1（具体的な事業内容）

歯科医業
建設・建築用の左官材料、災害時用の土納砂
調剤薬局
牛乳販売
調剤薬局
機械器具製造
高等学校、幼稚園、放課後児童クラブ
建設業、不動産業、保険業、飲食業
食品原材料等卸売
LP ガス・灯油販売、上下水道工事、住宅設備工事
工場設備の保守点検修理及び清掃
つり具販売
足場工事、ダクト工事、設備工事
欧州向けの総合食品輸出
産業廃棄物収集運搬業
自動車整備
居酒屋
婦人服販売小売業
リフォーム業
野菜、果物の配達
鉄筋工事
大型クラフト紙袋製造

鋼材のおろし売業
家電販売
シール印刷業
自動車鍍金塗装、修理、販売
自動車用タイヤ等の販売及び修理
税理士事務所
鯉幟・盆灯籠の製造販売
一般乗用旅客運送業
移動式クレーン車のリース業
土木工事
土木工事、建築工事
料理、仕出し、宴会
児童発達支援、放課後等デイサービス
喫茶 コーヒ豆販売
アルミサッシ販売
金属製品製造業
文具、事務用品、学校教材、教科書、書籍の販売
漬物
水道電気設備
土木・建築業で使う機械・器具の販売・修理
自動車販売・整備・ガソリンスタンド
プラント工事
ペット用品販売・美容
総合食品卸売業・小売業 *生鮮3品は取り扱いなし
道路舗装資材製造
機械器具設置工事
環境マネジメントシステム(EA21)審査員
管工事業・水道施設工事業
自動車部品製造業
繊維衣料品小売業
調剤薬局
不動産売買、仲介 高齢者住宅の運営
建築板金
工場内の設備、部品、修理、内作 中古機械の売買
シニア用品卸売業
各種製缶製品、輸送用、飼料用機械設計、施工
畜産物のと畜処理及び枝肉等の冷蔵保管業務 ・食肉総合流通施設の管理業務 ・部分肉カット処理受託業務

葬祭業
社会福祉
建設業一般
歯科一般治療他
ビジネスホテル
ゴム製品販売・取付・修理
石材
建設機械・産業機械の販売
建築内装材パテの製造
水道施設工事、管工事
護岸工事に使用する機械、資材機械運搬 港内外、航路浚渫工事
造園・土木工事業
衣料品小売
石材加工施工販売
デジタルプリント及撮影
外航貿易船・観光客船の代理店業
喫茶店
鮮魚卸売小売
家庭電器販売取付
ビルメンテナンス
美容業（カット、パーマ、カラー、着付）
燃料の販売業
食品製造業 冷凍食品
自動車整備、販売
縫製業
食品製造機械製造、販売
魚貝類の販売・卸売
精麦業
機械器具設置業
機械加工
美容
スポーツ用品販売
建築設備設計
自転車、バイク
飲食店
賃貸業
土木工事

喫茶店
スポーツ娯楽業
歯科医院
建材卸売業
損保代理店
不動産仲介
土木測量業・建設コンサルタント（設計）・補償コンサルタント業
測量・設計・調査
産業廃棄物処理業
内航海運業
損害保険代理店
家電販売、施工、修理
食品製造
非破壊検査業
大気排ガス測定・工場排水分析
美容業
衣料品販売、生地仕立て
建築設計
瀬戸中央自動車道路の維持作業
食料品、建築資材などの一般貨物輸送
土木、舗装業
オーダーメイド・着物リメイク 染物
飲料オペレーター業
熱絶縁工事、板金工事
部品の配送及び各企業の全国へ配送
生コンクリート製造販売
土地家屋調査
製麺業
自動車整備業
一般貨物自動車運送事業
焼肉店
帆布製品加工・設計・施工、トラックシート、幌加工・施工、各種看板
マッサージ
海運業
日用品卸売業（スーパー、事業所など）
土木工事
建築業

不動産賃貸業
税理士 公認会計士（会計事務所）
会計帳簿の記帳代行
道路貨物運送業
海運業
電気計装工事
ガソリンスタンド
コンビニエンスストア
居酒屋
管工事（ガス、水道）
家電販売
はかりの分銅
飲食業
船舶設計の請負い
セメント製品運送
外壁（ALC 張、ソース）工事
木造建築工事
塗装業
産業廃棄物（一般廃棄物）処理業
段ボール印刷用の印版作成（フレキソ製版）
アパート経営
衣料品小売
軽飲食販売（ラーメン等）
飲食（すし屋）
足場工事、土木工事
塩の卸売
部品加工
計装部品のソフト製作、検査事業
船舶板金加工業
美容業
倉庫業（普通倉庫業）
クリニック
室内装飾業
理容業
セラピー、カウンセリング
船舶代理店業、石油類出荷管理、石油物流基地業所受託
自動車整備業

不動産の売買・仲介・管理、自動車整備、損害保険代理店、ゴルフ練習場経営、人事・総務・財務などの事務代行
イベントの企画・制作・運営
和楽器 販売・修理
木製家具製造業
管工事業を主とする公共工事及びリフォーム工事
米国、カナダ原木販売
コンピューターシステムの開発・保守、派遣事業
造園業
婦人服製造
工業用電気機器製造
うどん店
木材卸売業
機械加工全般
機器メンテナンス工事及び据付など

設問 7（新型コロナウイルスの影響・物価高の影響）

本人や家族の感染のため（従業員の欠勤）
人口減少による他校との競争激化
社内外におけるコミュニケーション不足
公共事業の減少
利益率の低下
下請なので影響をうけていない
値上げがしにくい
コロナ感染等で来店できない
不要不急の外出制限
入国制限による外国人実習生の不足

設問 8（問 7 に対して実施した対策や対応）

テレビ会議の充実
社内クラスター発生防止に向けた対応
効率化
メニュー変更予定
値上げ交渉、経費削減
打開策がみえない
仕入価格値上りによる商品への価格転嫁

設問 9（自社の強み）

ライフライン 生活に必要なものを売っている あつまっている
M&A によりグループの拡大となったこと
料理のこだわり
味の良さ
信頼
高齢

設問 11（後継者）

まだ未成年
世代交代したばかり
経営者がまだ 40 才代なので現在は後継者はいない
経営者が若い
未定である
検討中
継承したばかりである
代表者は 50 才台前半であり、急いで探している訳ではない。
継承した
該当なし
子息が弱年のため未定
承継直後
今後の動向
社長が息子になって短いので次はまだ考えていない
息子が継いで（5.6 年前）いるので、その後の事はまだわかりません
事業継続の希望なし
後継時期を想定し、都度検討しているが、後継は先のことである。
いない訳ではないが、これから決める
発注者からの特命案件であるため
R4.1 月に事業継承したところなので
後継者になる年齢までまだ先である為
子供が継がない
100%子会社の為
経営者の年齢・子息の年齢が若い
緊急性がないように思っているが
高齢

設問 12（新型コロナウイルスの影響・物価高の影響以外の経営課題）

仕入先の倒産、廃業
下請けなのでイメージできません
飲み客の減少
在庫整理

設問 13（過去 3 年以内に実施した課題解決の取り組み）

時短等でそれどころでない
クレジット決済の導入

設問 14（新たな取り組みとして重視したいテーマ）

高付加価値
固有の機能を持つ商品開発・製造・販売

設問 15（経営課題の相談相手）

顧問弁護士
同業者
民商
メーカーの営業担当
株主
フランチャイズ本部
100%子会社の為
メインバンク担当者

設問 17（坂出市の特徴）

特徴はない
仲間意識高い
災害が少ない
分からない
学校の充実
物流拠点
災害が少ない
港がある
全て当てはまらないように思う
なし 地元企業を大事にしない
災害等が少ない
よくわからない
市民の発案をつのり良い案はとりあげ実行に移す ・塩の町であるから、市民がつけた「漬物コンクール」を実施、上位入賞者の漬物教室を開く。若い人に参加してもらう。
わからない

アンケート「その他」欄の回答】

ヘルスケア 設問 1-1（健康経営の取り組み）

従業員の歯周病検診
女性従業員への業務上の配慮
学校内敷地は全て禁煙。治療と仕事の両立支援
スポーツジムとの法人契約
定年退職希望者は、本人希望年齢まで雇用している。その為各国で取り組んでいる。
健康情報の共有、禁煙の奨励、健康診断等
従業員（社内で勤務）している方に、休けい時間等を利用したウォーキングを推奨し、実施している。
健康経営優良法人認定 産業保健センター活用
毎年更新している
受動喫煙対策
毎日の散歩、ラジオ体操を行っている。
労働時間の適性化 休暇取得率向上
福利厚生制度の充実をすすめているつもり
禁煙、受動喫煙対策
女性スタッフへの業務上の配慮、感染予防
事業所まると健康宣言事業所
産保から助言をもらいメンタルヘルスについての体制づくりを行った
職場環境を改善し植物を職場のいたるところに配置し休憩室には健康器具を購入しいつでも軽い運動ができる環境を作った。
従業員の十分な休日の確保のため営業時間の短縮、第三土曜日の連休を設定した。
特定健診受診
お客様、経営者共に身体に害のない薬液、シャンプー等特にこだわって経営しています。
運動のイベント
生活習慣病検診を行っており、その内容について、会話する。酒、タバコ、食事内容について、話しが出た時に、話し合いをする。体形、体調について、話しをしたり、聞いたり、医者にかかる事をすすめたりしている。
毎年社員の健康診断を受けている
スポーツの大会運営 etc
禁煙、防止 ・水分補給（就業中の水、茶は会社負担）
ワークライフバランス
有給がとりやすくしている、敷地内は禁煙
健康診断の実施
(1)協会けんぽからの保健師派遣(2)産業医（吉田内科）による健康チェックの実施
コロナ対策
受動喫煙対策として、事務所内での禁煙、喫煙者は社屋外に場所を設けている

禁煙
保護具 着用の徹底健康診断
健康診断の実施
メンタルヘルス、女性従業員への業務上の配慮
健康診断、有休をとりリフレッシュする
年一回人間ドッグをしている。
健診後の保健師による個別面談実施・受動喫煙対策・女性従業員への業務上の配慮他
メンタルヘルス対策 女性従業員への業務上の配慮
定期健康診断及び医師の所見実施
週休２日制の徹底、育休等
禁煙・受動喫煙対策 健康診断
禁煙、受動喫煙対策 メンタルヘルス対策
朝のラジオ体操
特になし
定休日週休２日に変更
健康診断、肝炎等予防注射等

ヘルスケア 設問２（ヘルスケアの取り組み）

シニア用品の開発・販売
優良なサプリメント・検査の販売、仲介
手作りの和惣菜中心のランチで健康を提供しているとは思いますが事業とは言えない
こだわりを持った仕事、頭皮、皮フに対してアレルギーの対処
グループ会社でフィットネスジムを運営している
スポーツ用品販売が主営業の為
予防歯科にとり組んでいる 虫歯予防、歯周病予防製品の販売など
①健康食品の販売②化粧品健康法の推進
治療と仕事の両立支援
メンタル、カウンセリングが他総合的ヘルスケアが主たる事業なのでスタッフ全員ヘルスケアは特に注意している
ゴルフ練習場の経営
介護用品の販売事業者ではある
医療業なのでイコールである

ヘルスケア 設問３（ヘルスケアの取り組み）

業務上いずれも該当せず
